

総説

REVIEW ARTICLE

令和4年診療報酬改定におけるレーザー治療

土田 敬明^{1,2,3}¹日本レーザー医学会社会保険委員会²国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院内視鏡科³国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院検診センター

(2022年3月28日受付, 2022年3月28日掲載決定, 2022年4月22日J-STAGE 早期公開)

Laser Treatments in the Current Medical Fee Revision 2022

Takaaki Tsuchida^{1,2,3}¹*Social Insurance Committee, Japan Society for Laser Surgery and Medicine*²*Department of Endoscopy, National Cancer Center Hospital*³*Screening Center, National Cancer Center Hospital*

(Received March 28, 2022, Accepted March 28, 2022, Advance Publication released online April 22, 2022)

要旨

令和4年診療報酬改定に対する日本レーザー医学会社会保険委員会の取り組みとその結果について述べる。また、現在薬機法で承認されているレーザー機器及び保険収載されているレーザー治療を表としてまとめ、その詳細について述べる。

キーワード：レーザー治療, レーザー装置, 保険診療

Abstract

The activities of Social Insurance Committee of the Japan Society for Laser Surgery and Medicine for medical fee revision in 2022 and the results were described. In addition, the summary of the laser equipment that have been approved by government and the present insurance coverage for laser treatment were described in detail.

Key words: Laser Therapy, Laser equipment, health insurance

はじめに

日本では、2年ごとに診療技術料の大改定が行われる。日本レーザー医学会は、レーザー技術の適正な評価と普及のために、レーザー技術に対する技術料の改定提案やレーザーを用いた技術の公的保険への新規収載の提案を行ってきた。2022年は大改定の年に該当し、日本レーザー医学会では2020年8月よりホームページ上及び保険委員会委員にご意見をいただいた上、2021年に改定提案を行った。この提案の経過と結果の詳細について述べる。

また、この提案は外科系学会保険委員会連合を通して行った。外保連は外科系技術における診療技術料の改定提案を行っている。外科系学会保険委員会連合では外保連試案として外科系技術の算定方法を提唱しており¹⁾、これを基に診療技術料の改定の提案を行っている。

また、現在薬機法で承認されているレーザー機器及び保険収載されているレーザー治療を表としてまとめ、最近承認された機器についてその詳細を述べる。

1. 日本レーザー医学会社会保険委員会の本年度診療報酬改定への取り組み

日本レーザー医学会社会保険委員会では、2022 年 4 月の診療報酬改定に向けて、2021 年 8 月よりホームページ上及び保険委員会委員にご意見をいただいた上、保険未収載技術の新規収載提案及び適正な診療報酬の改定が必要な既収載技術の改定提案を、外科系学会社会保険委員会連合を通じて行った。

今回の提案では、既収載技術に対して、「K005/K006/K006-2/K006-3 皮膚・皮下腫瘍摘出術／鶏眼・胼胝切除術」に対するレーザー加算の提案を行った。この提案に対しては令和 4 年改定での採用は見送られた²⁾。以下に、「K005/K006/K006-2/K006-3 皮膚・皮下腫瘍摘出術／鶏眼・胼胝切除術に対するレーザー加算」について、その提案の要点及び再評価の結果を記載する。

1.1 K005/K006/K006-2/K006-3 皮膚・皮下腫瘍摘出術／鶏眼・胼胝切除術（レーザー加算の要望）³⁾

1.1.1 技術の概要

脂漏性角化症や軟線維腫といった皮膚・皮下の良性腫瘍の摘出や鶏眼、胼胝の切除手術においては、治療部位の陥凹や瘢痕形成、取り残しによる再発、炎症後色素沈着、紅斑などが問題となる。このような病変に対し炭酸ガスレーザーを適切に使用することで、術野の出血をコントロールしながら正確に病変部を切開・凝固・蒸散することによって、低侵襲で副作用の少ない、QOL の高い治療が可能となるため、レーザー加算を要望する。

1.1.2 再評価が必要な理由

上記、皮膚良性腫瘍の摘出術においては、出血をコントロールして術野を確保しながら、健常部の損傷を抑えつつ、病変部を正確に切除する必要がある。現在、炭酸ガスレーザーの他に剪刀（メス）、液体窒素（冷凍療法）、電気メスが使用されているが、炭酸ガスレーザーによる摘出術が最も簡便で安全性が高く、QOL の高い治療が実現できる為、再評価が必要と考える。

1.1.3 再評価の結果

再評価すべき医学的な有用性が示されていないとされ、今回の診療報酬改定では採択されなかった。

令和 4 年改定の結果、日本レーザー医学会からの提案は残念ながら評価されなかった。令和 4 年改定では、令和 2 年改定に引き続き費用対効果が評価されたと考えられる項目が目立ったが、ガイドラインに収載されているかということや患者のメリットがどのくらいあるかについてもエビデンスが求められたと考えられる評価結果が目立った。

2. 最近の承認レーザー機器について

令和 2 年 1 月以降に承認されたレーザー機器を以下に示す。括弧内は製版業者名である。

2.1 LightSheer Duet ダイオードレーザーシステム（株式会社日本ルミナス）

令和 2 年 1 月 10 日承認。ダイオードレーザーである。

レーザーの選択的熱作用による長期的な減毛を目的とした装置である。

2.2 ザ・ルビー Z1 Nexus（株式会社ジェイメック）

令和 2 年 1 月 24 日承認。Ruby レーザー（ノーマル、Q スイッチ）である。正常皮膚と色素沈着性母斑などの色素沈着部位との分光特性の差を利用し、ルビーレーザー光がこれら色素沈着部位に選択的に吸収されることにより、これらを破壊し治療するものである。また、刺青の除去にも使用する。

2.3 NEW レザック（白水貿易株式会社）

令和 2 年 3 月 24 日承認。炭酸ガスレーザーである。生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散に使用する。

2.4 ウォーターレーズ iPlus（白水貿易株式会社）

令和 2 年 4 月 10 日承認。Er, Cr:YSGG レーザーである。口腔内の軟組織の切開、凝固、蒸散及び歯牙の蒸散を行う。

2.5 皮膚良性色素性疾患治療用レーザー装置 PicoSure（サイノシエアー株式会社）

令和 2 年 5 月 13 日承認。アレキサンドライトレーザー（ピコ）である。体表面の表在性及び深在性良性色素性病変の治療、又は外傷性及び入墨による刺青の蒸散及び除去に使用する。

2.6 ディスカバリー ピコ プラス（Quanta System SpA）

令和 2 年 7 月 3 日承認。Nd:YAG/ルビーレーザー（ピコ/Q スイッチ）である。刺青及び色素性病変の蒸散及び除去に使用する。

2.7 長期減毛・色素性疾患用レーザー装置 GentleMax Pro Plus（シネロン・キャンデラ株式会社）

令和 2 年 9 月 17 日承認。アレキサンドライトレーザー/Nd:YAG レーザーである。レーザーの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とする。また、アレキサンドライトレーザーは表在性の皮膚良性色素性疾患の治療にも使用する。

2.8 パラス（株式会社アルテック）

令和 2 年 12 月 7 日承認。チタンサファイアレーザーである。乾癬、類乾癬、掌蹠膿疱症、菌状肉腫（症）、悪性リンパ腫、慢性苔癬状皰癬、尋常性白斑、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症等の中波紫外線療法の対象となる皮膚疾患の治療に用いる、波長 311 nm のチタンサファイアレーザーである。

2.9 Quanta Litho EVO レーザ（エダップテクノメド株式会社）

令和 2 年 12 月 16 日承認。Ho:YAG レーザーである。生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎術を行う。

2.10 レボリックス 200 (タカイ医科工業株式会社)

令和2年12月23日承認。Tm:YAG レーザーである。生体組織の切開、止血、凝固、蒸散を目的とする外科的処置に使用する。

2.11 長期減毛用ダイオードレーザー メディオスターモリス (株式会社メディカルユーアンドエイ)

令和2年12月23日承認。ダイオードレーザーである。レーザーの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とした装置である。

2.12 LightSheer Quattro ダイオードレーザーシステム (株式会社日本ルミナス)

令和2年12月23日承認。ダイオードレーザーである。レーザーの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とした装置である。

2.13 PQX ピコレーザー (株式会社ジェイメック)

令和3年2月5日承認。Nd:YAG レーザー (ピコ) である。体表面の刺青の除去と色素性病変の治療に使用する。波長 1064nm は、太田母斑、異所性又は持続性蒙古斑、外傷性色素沈着症等の深在性色素性病変の治療及び黒青系の色の刺青の除去に使用する。波長 532nm は、扁平母斑、雀卵斑、老人性色素斑等の表在性色素性病変の治療及び赤系の色の刺青の除去に使用する。

2.14 モータスエーエックス (株式会社 DEKA JAPAN)

令和3年4月7日承認。アレキサンドライトレーザーである。レーザーの選択的熱作用による長期的な減毛を目的としている。

2.15 ロングパルス長期減毛用レーザ Elite+ (サイノシェアー株式会社)

令和3年7月1日承認。アレキサンドライトレーザー/Nd:YAG レーザーである。レーザーの選択的熱作用による長期的な減毛を目的としている。

2.16 フォーマ・アルファ (株式会社ジェイメック)

令和3年8月25日承認。ダイオードレーザーである。レーザーの選択的熱作用による長期的な減毛を目的としている。

2.17 眼科用レーザ光凝固装置 Vitra 2 レーザシステム (エレックス株式会社)

令和3年10月21日承認。DPSS レーザーである。レーザーによる熱作用を利用して、眼疾患の治療 (網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固術) に用いる。

2.18 Enlighten III レーザシステム (キュテラ株式会社)

令和3年11月22日承認。Nd:YAG レーザー (ピコ) である。深在性及び表在性の皮膚良性色素性病変の治療並びに刺青の除去に使用する。

2.19 SPLENDOR X レーザシステム (株式会社日本ルミナス)

令和4年1月27日承認。アレキサンドライトレーザー/Nd:YAG レーザーである。レーザーの選択的熱作用による長期的な減毛を目的としている。

3. 今後の社会保険委員会の活動について

2023 年は診療報酬の大改定年ではないため、診療報酬に対する提案活動は限定的となるが、2024 年に予定される大改定に向けた準備を行う。具体的には11月下旬には外保連及び内保連経由での提案予定の技術についてのアンケートの締め切りとなるため、7月ごろよりホームページ等を通して提案を希望する技術の公募を行う。ここで提案を希望する技術に社会保険委員会が中心となって優先順位をつけそのリストを外保連に回答する。外保連及び内保連では、複数学会から重複して提案が希望された技術につき調整を行い、担当学会を決め、担当学会となった際には、例年5月頃に提案書の提出締め切りとなるため、それまでに提案書を作成する。提案書の作成には、その技術の有用性を示す論文や使用する薬剤や機器の添付文書の提出が求められており、あらかじめ資料を収集しておく必要がある。

4. 保険収載されているレーザー治療及び薬機法で承認されたレーザー機器一覧

現在保険収載されているレーザー治療に関する実態を調査した結果を Table 1 から Table 4 にまとめた。表の作成にあたっては、日本医用レーザ協会に協力いただいた。令和4年の医科と歯科の診療報酬点数表からレーザー治療に関係するものを抜粋し、まとめた (Table 1)。Table 1 には保険診療の [区分] と [名称]、[保険点数]、[留意事項]、そして「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(令和4年3月4日保医発 0304 第1号)⁴⁾から算定方法の該当部分を抜粋し [通知] とし、さらに該当の保険診療で使用可能な [特定診療報酬算定医療機器の区分]、またその医療機器の [一般的名称]、そして実際に使用されている [装置名] [製造販売元] [販売元]、最後に [現況] とし現在も製造販売されている装置には○、製造販売は中止されているがまだ市場で使用されている装置には△で区別した。

特定保険医療材料として償還されるディスプレイブル材料を Table 2 にまとめた。Table 2 には特定保険医療材料の [特定診療報酬算定/決定区分] と [償還価格]、そして「特定保険医療材料の定義について」(令和4年3月4日保医発 0304 第12号)⁵⁾から該当部分を抜粋し [定義] とし、さらに「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(令和4年3月4日保医発 0304 第9号)⁶⁾から算定条件の該当部分を抜粋し [通知] とし、またその医療材料の [販売名]、[製販業者名]、[保険適用開始日]、そして [承認番号] を記載した。Table 3 には償還が認められていないディスプレイブル材料をまとめた。ディスプレイブル材料の [一般的名称]、そして [販売名] [製販業者名] [販売会社名] [承認年月日] [承認番号]、最後に [使用目的及び効能・効果] とした。

Table 4 は波長別のレーザー機器を、日本医用レーザ協

会、日本眼科医療機器協会加盟企業等から収集した情報をベースに作成した。各社から情報提供された機器に関し波長順に〔短→長〕並べた。Table 4 中の項目は〔波長〕〔レーザーの種類〕〔販売名〕〔製造販売会社名〕〔販売会社名〕そして〔承認年月日〕と〔承認番号〕、〔使用目的又は効果〕、最後に〔現況〕とし現在も製造販売されている装置には○、製造販売は中止されているがまだ市場で使用されている装置には△で区別した。〔波長〕は複数の波長を発振できる装置はそれぞれの波長を記載した。医療機器は改良が加えられていくのが常であり、ここにも一変申請されている装置が多くあるが、承認日は最初のモデルが承認された日とした。また〔使用目的又は効果〕の項には、承認書に記載されている文言をそのまま記載した。〔保険〕にはその装置で可能な保険診療を、Table 1 で振った一連の番号を記載した。

今回これらの表を作成するにあたりご協力いただいた企業の一覧を Table 5 とした。

5. まとめ

令和 4 年診療報酬改定では、当学会からの提案は評価されなかった。レーザー技術に応用した医療技術は概して費用対効果が良く QOL に対しても高い改善効果が期待されており、引き続きレーザー治療の普及に向けて活動を行っていくことが重要である。しかし、診療報酬改定のための技術評価には、ガイドラインへの収載や患者への利益を示すエビデンスが必要であり、当学会においてもエビデンスを構築していく活動を期待する。また、レーザー関連の新規技術に関しては日本レーザー医学会の果たす役割は重要であり、産官学の連携を密にして安全なレーザー技術の普及に向けて活動を行っていくことが必要である。

外保連では、外科系技術について診療報酬を適正化するために外保連試案を提唱しており、引き続き外保連と連携することにより、診療におけるレーザー技術を適正に評価いただくことは、レーザー医療の普及のためにも重要である。

利益相反の開示

利益相反なし

引用文献

- 1) 外保連（一般社団法人外科系学会社会保険委員会連合）編、外保連試案 2022、医学通信社、2021 年
- 2) 厚生労働省、診療報酬の算定方法の一部を改正する件、令和 4 年厚生労働省告示第 54 号、厚生労働省、2022 年、（参照 2022 年 3 月 26 日）
- 3) 外保連（一般社団法人外科系学会社会保険委員会連合）編、令和 4 年度診療報酬改定に対する外保連要望書、2021 年
- 4) 厚生労働省、診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について（通知）、令和 4 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号、厚生労働省、2022 年、（参照 2022 年 3 月 26 日）
- 5) 厚生労働省、特定保険医療材料の定義について（通知）、令和 4 年 3 月 4 日保医発 0304 第 11 号、厚生労働省、2022 年、（参照 2022 年 3 月 26 日）

- 6) 厚生労働省、特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について（通知）、令和 4 年 3 月 4 日保医発 0304 第 9 号、厚生労働省、2022 年、（参照 2022 年 3 月 26 日）

著者紹介



土田 敬明（Takaaki Tsuchida）

1961 年生まれ（神奈川県三浦市）。1986 年 東京医科大学卒業。同年 東京医科大学外科学第 1 講座入局。1991 年 東京医科大学外科学第 1 講座助手。1993 年 医学博士（東京医科大学 甲 第 866 号）。1994-96 年 米国ラズウェルパークがん研究所に留学。2002 年 東京医科大学外科学第 1 講座講師。2004 年- 国立がん研究センター中央病院内視鏡科医長。2015 年- 国立がん研究センター中央病院検診センター併任。

専門分野：呼吸器内視鏡

所属学会：日本レーザー医学会（理事、社会保険委員長）、外科系学会社会保険委員会連合（理事、検査委員長）、日本 CT 検診学会（理事、総務委員長）、日本呼吸器内視鏡学会（評議員）、日本肺癌学会（評議員）、日本光線力学学会（評議員）、日本レーザー治療学会、世界肺癌学会、日本外科学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会、日本臨床細胞学会、日本外科系連合学会、日本臨床外科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本がん検診・診断学会、日本乳がん検診学会、日本気管食道科学会、日本放射光学会、日本気胸・嚢胞性肺疾患学会

受賞歴：平成 10 年 東京医科大学佐々賞。平成 13 年 日本レーザー医学会学会賞

Table 1 Laser devices arranged in the order of insurance classification.

番号	区分	名 称	保険点数	留意事項	通知（令和 04 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号）	特定診療報酬算定医療機器の区分
医科						
①	J054	皮膚科光線療法（1 日につき）			(1) 赤外線療法は、ソラックス灯等の赤外線を出力する機器を用いて行った場合に算定できる。 (2) 紫外線療法は、フィンゼン灯、クロマイエル水銀石英灯等の紫外線を出力する機器を用いて行った場合に算定できる。 (3) 赤外線又は紫外線療法（長波紫外線療法及び中波紫外線療法を除く。）は、5 分以上行った場合に算定する。 (4) 長波紫外線又は中波紫外線療法は、長波紫外線（概ね 315 ナノメートル以上 400 ナノメートル以下）又は、中波紫外線（概ね 290 ナノメートル以上 315 ナノメートル以下）を選択的に出力できる機器によって長波紫外線又は中波紫外線療法を行った場合に算定できるものであり、いわゆる人工太陽等の長波紫外線及び中波紫外線を非選択的に照射する機器によって光線療法を行った場合は、赤外線又は紫外線療法の所定点数によって算定する。 (5) 中波紫外線療法（308 ナノメートル以上 313 ナノメートル以下に限定したもの）は、いわゆるナローバンド UVB 療法をいい、308 ナノメートル以上 313 ナノメートル以下の中波紫外線を選択的に出力できる機器によって中波紫外線療法を行った場合に算定する。 (6) 長波紫外線療法又は中波紫外線療法は乾癬、類乾癬、掌跖膿疱症、菌状肉腫（症）、悪性リンパ腫、慢性苔癬状乾癬疹、尋常性白斑、アトピー性皮膚炎又は円形脱毛症に対して行った場合に限って算定する。 (7) 赤外線療法、紫外線療法、長波紫外線療法又は中波紫外線療法を同一日に行った場合は、主たるものの所定点数のみにより算定する。また、同じものを同一日に複数回行った場合でも、1 日につき所定点数のみにより算定する。 (8) 皮膚科光線療法は、同一日において消炎鎮痛等処置とは併せて算定できない。	光線治療器（Ⅱ）
		1 赤外線又は紫外線療法 注 入院中の患者以外の患者についてのみ算定する。	45 点			
		2 長波紫外線又は中波紫外線療法 （概ね 290 ナノメートル以上 315 ナノメートル以下のもの）	150 点			
		3 中波紫外線療法 （308 ナノメートル以上 313 ナノメートル以下に限定したもの）	340 点			
②	J054-2	皮膚レーザー照射療法（一連につき）		3 歳未満の乳幼児に対して皮膚レーザー照射療法を行った場合は、乳幼児加算として、2,200 点を所定点数に加算する。	(1) 皮膚レーザー照射療法は、単なる美容を目的とした場合は算定できない。 (2) 「一連」とは、治療の対象となる疾患に対して所期の目的を達するまでに行う一連の治療過程をいい、概ね 3 月間にわたり行われるものをいう。例えば、対象病変部位の一部ずつに照射する場合や、全体に照射することを数回繰り返して一連の治療とする場合は、1 回のみ所定点数を算定する。 (3) 皮膚レーザー照射療法を開始した場合は、診療報酬明細書の摘要欄に、前回の一連の治療の開始日を記載する。 (4) 「Ⅰ」の色素レーザー照射療法は、単純性血管腫、莓状血管腫又は毛細血管拡張症に対して行った場合に算定する。 (5) 「Ⅱ」の Q スイッチ付レーザー照射療法は、Q スイッチ付ルビーレーザー照射療法、ルビーレーザー照射療法、Q スイッチ付アレキサンドライトレーザー照射療法及び Q スイッチ付ヤグレーザー照射療法をいう。 (6) Q スイッチ付レーザー照射療法は、頭頸部、左上肢、左下肢、右上肢、右下肢、胸腹部又は背部（臀部を含む）のそれぞれの部位ごとに所定点数を算定する。また、各部位において、病変部位が重複しない複数の疾患に対して行った場合は、それぞれ算定する。 (7) Q スイッチ付ルビーレーザー照射療法及びルビーレーザー照射療法は、太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着症、扁平母斑等に対して行った場合に算定できる。なお、一連の治療が終了した太田母斑、異所性蒙古斑又は外傷性色素沈着症に対して再度当該療法を行う場合には、同一部位に対して初回治療を含め 5 回を限度として算定する。 (8) Q スイッチ付ルビーレーザー照射療法及びルビーレーザー照射療法は扁平母斑等に対しては、同一部位に対して初回治療を含め 2 回を限度として算定する。 (9) Q スイッチ付アレキサンドライトレーザー照射療法は、太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着症等に対して行った場合に算定できる。なお、扁平母斑にあつては算定できない。 (10) Q スイッチ付ヤグレーザー照射療法は、太田母斑、異所性蒙古斑又は外傷性色素沈着症に対して行った場合に算定できる。	皮膚レーザー照射装置（Ⅰ）
		1 色素レーザー照射療法 注 照射面積が 10 平方センチメートルを超えた場合は、10 平方センチメートル又はその端数を増すごとに、照射面積拡大加算として、所定点数に 500 点を加算する。ただし、8,500 点の加算を限度とする。	2,170 点			
		2 Q スイッチ付レーザー照射療法 イ 4 平方センチメートル未満 ロ 4 平方センチメートル以上 16 平方センチメートル未満 ハ 16 平方センチメートル以上 64 平方センチメートル未満 ニ 64 平方センチメートル以上	2,000 点 2,370 点 2,900 点 3,950 点			皮膚レーザー照射装置（Ⅱ）
④	J119-3	低出力レーザー照射（1 日につき）	35 点		(1) 筋肉、関節の慢性非感染性炎症性疾患における疼痛の緩和のために低出力レーザー照射を行った場合に、疾病、照射部位又は照射回数に関わらず 1 日につき所定点数を算定する。 (2) 同一患者につき同一日において、低出力レーザー照射に併せて消炎鎮痛等処置、腰部又は胸部固定帯固定、肛門処置を行った場合は、主たるものにより算定する。 (3) 区分番号「C109」在宅寝たきり患者処置指導管理料を算定している患者（これに係る薬剤料又は特定保険医療材料料のみを算定している者を含み、入院中の患者及び医療型短期入所サービス費又は医療型特定短期入所サービス費を算定している短期入所中の者を除く。）については、低出力レーザー照射の費用は算定できない。	レーザ治療器

*1 現況：○=販売中、△=消耗品の提供やメンテナンス等の対応はされているが販売は終了。
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザ協会による調査に対しての回答による。

一般的名称	装置名	製販業者名	販売会社名	現況 ^{*1}
紫外線治療器 赤外線治療器 キセノン光線治療器				
エキシマレーザ	エクストラック	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
チタンサファイアレーザ	パラス	株式会社アルテック	株式会社アルテック	○
色素レーザ	皮膚良性血管病変治療用レーザー装置 Cynergy J	サイノシユアー株式会社	サイノシユアー株式会社	○
	皮膚良性血管病変治療用レーザー Vbeam	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社	△
	皮膚良性血管病変治療用レーザー Vbeam II	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社	○
	皮膚良性血管病変治療用レーザー Vbeam Prima	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社	○
アレキサンドライトレーザ	皮膚良性色素性疾患治療用レーザ装置 Accolade J	サイノシユアー株式会社	サイノシユアー株式会社	○
	皮膚良性色素性疾患治療用レーザ装置 PicoSure	サイノシユアー株式会社	サイノシユアー株式会社	○
	皮膚良性色素性疾患治療用レーザー装置 ALEX II	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社	△
ルビーレーザ	ザ・ルビー nano_Q	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	ザ・ルビー Z1 Nexus	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	ナノスターアール	株式会社メディカルユアードエイ	株式会社メディカルユアードエイ	○
ネオジミウム・ヤグレーザ	Q- プラス -R	Quanta System SpA	ビッグブルー株式会社	○
	enLIGHTen エンライトン	キュテラ株式会社	キュテラ株式会社	○
	Enlighten III レーザシステム	キュテラ株式会社	キュテラ株式会社	○
	スターウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	PQX ピコレーザ	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	ピコセカンド KTP/Nd:YAG レーザー PicoWay	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社	○
	アセット	Quanta System SpA	ビッグブルー株式会社	○
	ディスカバリー ピコ プラス	Quanta System SpA	ビッグブルー株式会社	○
半導体レーザ治療器	オーレイズ -3D1	株式会社日本医用レーザー研究所	株式会社日本医用レーザー研究所	△
	オーレイズ HT2001	株式会社日本医用レーザー研究所	株式会社日本医用レーザー研究所	○
	Sheep	株式会社ユニタック	株式会社ユニタック	○
ヘリウム・ネオンレーザ治療器				

Table 1 Laser devices arranged in the order of insurance classification.

番号	区分	名 称	保険点数	留意事項	通知（令和 04 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号）	特定診療報酬算定医療機器の区分
⑤	K169	頭蓋内腫瘍摘出術 1 松果体部腫瘍 2 その他のもの 注 1 脳腫瘍覚醒下マッピングを用いて実施した場合は、脳腫瘍覚醒下マッピング加算として、4,500 点を所定点数に加算する。 注 2 原発性悪性脳腫瘍に対する頭蓋内腫瘍摘出術において、タラボルフィンナトリウムを投与した患者に対し PDT 半導体レーザーを用いて光線力学療法を実施した場合は、原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算として、18,000 点を所定点数に加算する。 注 3 2 について、同一手術室内において術中に MRI を撮影した場合は、術中 MRI 撮影加算として、3,990 点を所定点数に加算する。	158,100 点 132,130 点		(1)「注 1」に規定する脳腫瘍覚醒化マッピング加算を算定する場合は、区分番号「K930」脊髄誘発電位測定等加算は算定できない。 (2)「注 3」に規定する術中 MRI 撮影加算は、関係学会の定めるガイドラインを遵守した場合に限り算定する。なお、MRI にかかる費用は別に算定できる。	レーザー手術装置（V）
⑥	K254	治療的角膜切除術 1 エキシマレーザーによるもの（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。） 注 手術に伴う画像診断及び検査の費用は、算定しない。	10,000 点			
⑦	K259	角膜移植術 注 1 レーザーによる場合は、レーザー使用加算として、所定点数に 5,500 点を加算する。 注 2 内皮移植による角膜移植を実施した場合は、内皮移植加算として、8,000 点を所定点数に加算する。	52,600 点		(1) 角膜を採取・保存するために要する費用は、所定点数に含まれ別に算定できない。 (2) 角膜を移植する場合においては、「眼球提供者（ドナー）適応基準について」（平成 12 年 1 月 7 日健医発第 25 号厚生労働省保険医療局長通知）、「眼球のあっせん技術指針について」（平成 12 年 1 月 7 日健医発第 26 号厚生労働省保険医療局長通知）を遵守している場合に限り算定する。 (3) 眼科用レーザー角膜手術装置により角膜切片を作成し、角膜移植術を行った場合は、「注 1」に規定するレーザー使用加算を併せて算定する。 (4) 水疱性角膜症の患者に対して、角膜内皮移植を実施した場合は、「注 2」に規定する内皮移植加算を算定できる。	
⑧	K270	虹彩光凝固術	6,620 点			眼科用光凝固装置
⑨	K271	毛様体光凝固術	5,600 点			眼科用光凝固装置
⑩	K273	隅角光凝固術	9,660 点			眼科用光凝固装置

*1 現況：○=販売中、△=消耗品の提供やメンテナンス等の対応はされているが販売は終了。
（注）2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザー協会による調査に対する回答による。

一般的名称	装置名	製販業者名	販売会社名	現況 ^{*1}
PDT 半導体レーザー	PD レーザ BT	Meiji Seika ファルマ株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社	○
	VISX エキシマレーザーシステム	エイエムオー・ジャパン株式会社	エイエムオー・ジャパン株式会社	△
	アドバンスト フェムトセカンドレーザー	エイエムオー・ジャパン株式会社	エイエムオー・ジャパン株式会社	○
	フェムトセカンドレーザー VISUMAX	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	ウェーブライト フェムトセカンドレーザー FS200	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社	○
眼科用レーザー光凝固装置 眼科用レーザー光凝固 ・パルスレーザー手術装置	ビズラス 532s	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	ビズラス 532s II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	ビズラス green	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	マルチカラーレーザー光凝固装置ビズラス TRION	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	マルチカラーレーザー光凝固装置ビズラス TRION II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	ピュアイエロー・レーザー光凝固装置 IQ577	株式会社トーマコーポレーション	株式会社トーマコーポレーション	○
	PASCAL Synthesis	株式会社トプコン	株式会社トプコンメディカルジャパン	○
	グリーンレーザー光凝固装置 GYC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	イエローレーザー光凝固装置 YLC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	マルチカラーレーザー光凝固装置 MC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	アルコン ピュアポイント 眼科用光凝固装置	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社	○
	Vision One マルチカラーレーザー光凝固装置	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	眼科用レーザー光凝固装置 Navilas577s ナビゲーションレーザーシステム	株式会社アンフィ	アキュラ株式会社	○
眼科用レーザー光凝固装置 眼科用レーザー光凝固 ・パルスレーザー手術装置	ビズラス 532s	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	ビズラス 532s II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	ビズラス green	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	マルチカラーレーザー光凝固装置ビズラス TRION	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	マルチカラーレーザー光凝固装置ビズラス TRION II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	半導体レーザー装置 CYCLO G6	株式会社トーマコーポレーション	株式会社トーマコーポレーション	○
	PASCAL Synthesis	株式会社トプコン	株式会社トプコンメディカルジャパン	○
	アルコン ピュアポイント 眼科用光凝固装置	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社	○
	眼科用レーザー光凝固装置 Navilas577s ナビゲーションレーザーシステム	株式会社アンフィ	アキュラ株式会社	○
眼科用レーザー光凝固装置 眼科用レーザー光凝固 ・パルスレーザー手術装置	ビズラス 532s	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	ビズラス 532s II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	ビズラス green	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	マルチカラーレーザー光凝固装置ビズラス TRION	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	マルチカラーレーザー光凝固装置ビズラス TRION II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	ピュアイエロー・レーザー光凝固装置 IQ577	株式会社トーマコーポレーション	株式会社トーマコーポレーション	○
	PASCAL Synthesis	株式会社トプコン	株式会社トプコンメディカルジャパン	○
	眼科用ヤグレーザ手術装置 YC-200	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	グリーンレーザー光凝固装置 GYC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	イエローレーザー光凝固装置 YLC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	マルチカラーレーザー光凝固装置 MC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	アルコン ピュアポイント 眼科用光凝固装置	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社	○
	Vision One マルチカラーレーザー光凝固装置	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	眼科用レーザー光凝固装置 Navilas577s ナビゲーションレーザーシステム	株式会社アンフィ	アキュラ株式会社	○
	タンゴ オフサルミックレーザー	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	タンゴ Reflex オフサルミックレーザー	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	フュージョン オフサルミックレーザー	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○

Table 1 Laser devices arranged in the order of insurance classification.

番号	区分	名 称	保険点数	留意事項	通知（令和 04 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号）	特定診療報酬算定 医療機器の区分
⑪	K276	網膜光凝固術 1 通常のもの（一連につき） 2 その他特殊なもの（一連につき）	10,020 点 15,960 点		(1)「一連」とは、治療の対象となる疾患に対して所期の目的を達するまでに行う一連の治療過程をいう。例えば、糖尿病性網膜症に対する汎光凝固術の場合は、1 週間程度の間隔で一連の治療過程にある数回の手術を行うときは、1 回のみ所定点数を算定するものであり、その他数回の手術の費用は所定点数に含まれ、別に算定できない。 (2)「2」その他特殊なものとは、裂孔原性網膜剥離、円板状黄斑変性症、網膜中心静脈閉鎖症による黄斑浮腫、類囊胞黄斑浮腫及び未熟児網膜症に対する網膜光凝固術並びに糖尿病性網膜症に対する汎光凝固術を行うことをいう。	眼科用光凝固装置
⑫	K282-2	後発白内障手術	1,380 点		後発白内障切開術（観血的）は当該区分に準じて算定する。	眼科用レーザー手術装置
⑬	K331-3	下甲介粘膜レーザー焼灼術（両側）	2,910 点			
⑭	K470-2	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	22,100 点		(1) 半導体レーザー用プローブを用いて切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌に対してレーザー光照射を実施した場合に算定する。 (2) 本療法は、頭頸部外科について 5 年以上の経験を有し、本治療に関する所定の研修を終了している医師が実施すること。	レーザー手術装置 (VIII)
⑮	K510-2	光線力学療法 1 早期肺がん（0 期または 1 期に限る。）に 対するもの 2 その他のもの	10,450 点 10,450 点		光線力学療法は、ポルフィマーナトリウムを投与した患者に対しエキシマ・ダイ・レーザー（波長 630nm）及び YAG-OPO レーザーを使用した場合など、保険適用された薬剤、機器を用いて行った場合に限り算定できる。	レーザー手術装置 (II) レーザー手術装置 (VI)
⑯	K510-3	気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	12,020 点			
⑰	K526-3	内視鏡的表在性食道悪性腫瘍光線力学療法	12,950 点		内視鏡的表在性食道悪性腫瘍光線力学療法は、ポルフィマーナトリウムを投与した患者に対しエキシマ・ダイ・レーザー（波長 630nm）及び YAG-OPO レーザーを使用した場合など、保険適用された薬剤、機器を用いて行った場合（タラボルフィンナトリウム及び半導体レーザー用プローブを用いた場合は除く。）に限り算定できる。	レーザー手術装置 (II)
⑱	K526-4	内視鏡的食道悪性腫瘍光線力学療法	22,100 点		(1) タラボルフィンナトリウム及び半導体レーザー用プローブを用いて、以下のいずれにも該当する局所遺残再発食道悪性腫瘍に対して光線力学療法を実施した場合に算定する。 ア 外科的切除又は内視鏡的治療等の根治的治療が不可能であるもの イ 壁深達度が固有筋層を越えないもの ウ 長径が 3cm 以下かつ周在性が 1/2 周以下であるもの エ 頸部食道に及ばないもの オ 遠隔転移及びリンパ節転移のいずれも有さないもの (2) 内視鏡的食道悪性腫瘍光線力学療法の実施に当たり、追加照射の要否を判定するための内視鏡検査及び追加照射に係る費用は全て所定の点数に含まれ、別に算定できない。	レーザー手術装置 (VI)

*1 現況：○=販売中、△=消耗品の提供やメンテナンス等の対応はされているが販売は終了。
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザー協会による調査に対する回答による。

一般的名称	装置名	製販業者名	販売会社名	現況 ^{*1}
眼科用レーザー光凝固装置 眼科用レーザー光凝固 ・バルスレーザー手術装置	ビズラス 532s	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	ビズラス 532s II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	ビズラス green	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	マルチカラーレーザー光凝固装置ビズラス TRION	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	マルチカラーレーザー光凝固装置ビズラス TRION II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	ビズラス PDT システム 690s	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	ビズラス PDT システム 690plus	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	△
	ピュアイエロー・レーザー光凝固装置 IQ577	株式会社トーマーコーポレーション	株式会社トーマーコーポレーション	○
	PASCAL Synthesis	株式会社トプコン	株式会社トプコンメディカルジャパン	○
	グリーンレーザー光凝固装置 GYC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	イエローレーザー光凝固装置 YLC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	マルチカラーレーザー光凝固装置 MC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	アルコン ピュアポイント 眼科用光凝固装置	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社	○
	Vision One マルチカラーレーザー光凝固装置	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	眼科用レーザー光凝固装置 Navilas577s ナビゲーションレーザーシステム	株式会社アンフィ	アキュラ株式会社	○
	眼科用レーザー光凝固装置 Easyret マルチスポットレーザーシステム	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	インテグラ プロスキャン レーザー光凝固装置	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	インテグラ プロ レーザー光凝固装置	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	眼科用レーザー光凝固装置 Vitra 532 レーザーシステム	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	眼科用レーザー光凝固装置 Vitra 2 レーザーシステム	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	眼科用 PDT レーザ装置 VitraPDT レーザーシステム	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
眼科用バルスレーザー手術装置 眼科用レーザー光凝固 ・バルスレーザー手術装置	ビズラス YAG III	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	○
	眼科用ヤグレーザー手術装置 YC-200	株式会社ニデック	株式会社ニデック	○
	Aura オフサルミクックヤグレーザー	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	△
	セレクト オフサルミック レーザシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	ウルトラ Q オフサルミックレーザー	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	タンゴ オフサルミックレーザー	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	タンゴ Reflex オフサルミックレーザー	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	フュージョン オフサルミックレーザー	エレックス株式会社	エレックス株式会社	○
	飛鳥半導体レーザー ADL-20	飛鳥メディカル株式会社	飛鳥メディカル株式会社	△
	スマートサイド	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクスパンション サービスジャパン株式会社	○
	スマートサイド・タッチ	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクスパンション サービスジャパン株式会社	○
PDT 半導体レーザー				
PDT エキシマレーザー	PD レーザ	Meiji Seika ファルマ株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社	○
PDT 半導体レーザー				
	飛鳥半導体レーザー ADL-20	飛鳥メディカル株式会社	飛鳥メディカル株式会社	△
PDT エキシマレーザー				
PDT 半導体レーザー	PD レーザ	Meiji Seika ファルマ株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社	○

Table 1 Laser devices arranged in the order of insurance classification.

番号	区分	名 称	保険点数	留意事項	通知（令和 04 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号）	特定診療報酬算定医療機器の区分
⑯	K548	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） 2 エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの	24,720 点	手術に伴う画像診断及び検査の費用は算定しない。	(1) 同一医療機関において、同一患者の同一標的病変に対して区分番号「K546」経皮的冠動脈形成術、区分番号「K547」経皮的冠動脈粥腫切除術、区分番号「K548」経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）又は区分番号「K549」経皮的冠動脈ステント留置術を行う場合の合計回数は、5 年間に 2 回以下を標準とする。なお、医学的根拠に基づきこれを超える回数の手術を実施する場合にあつては、以下の事項を診療報酬明細書の摘要欄に詳細に記載すること。 ア 過去の実施時期 イ 実施した手術及びそれぞれの実施時において使用した経皮的冠動脈形成術用カテーテル、アテレクトミーカテーテル、高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル、エキシマレーザー血管形成用カテーテル及び冠動脈用ステントセットの使用本数 ウ 今回、経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）を実施する理由及び医学的根拠 (2) 当該手術が、日本循環器学会、日本冠疾患学会、日本胸部外科学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本心臓血管外科学会、日本心臓病学会、日本集中治療医学会、日本心臓リハビリテーション学会及び日本不整脈心電学会の承認を受けた「急性冠症候群ガイドライン（2018 年改訂版）」又は「安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン（2018 年改訂版）」に沿って行われた場合に限り算定する。	
⑰	K599-5	経静脈電極拔去術 1 レーザーシースを用いるもの	28,600 点	手術に伴う画像診断及び検査の費用は算定しない。	当該手術の実施に当たっては、関連学会の定める実施基準に準じること。	
⑱	K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	10,200 点	手術に伴う画像診断及び検査の費用は算定しない。	(1) 所定の研修を終了した医師が実施した場合に限り算定し、一側につき 1 回に限り算定する。なお、当該手術に伴って実施される画像診断及び検査の費用は所定点数に含まれる。 (2) 下肢静脈瘤血管内焼灼術の実施に当たっては、関係学会が示しているガイドラインを踏まえ適切に行うこと。	レーザー手術装置 (IV)
㉒	K653-4	内視鏡的表在性胃悪性腫瘍光線力学療法	6,460 点		(1) 内視鏡的表在性胃悪性腫瘍光線力学療法は、ボルフイマーナトリウムを投与した患者に対しエキシマ・ダイ・レーザー（波長 630nm）及び YAG-OPO レーザーを使用した場合など、保険適用された薬剤、機器を用いて行った場合に限り算定できる。 (2) マイクロ波凝固療法を実施した場合における当該療法に係る費用は、所定点数に含まれる。	レーザー手術装置 (II)
㉓	K781	経尿道的尿路結石除去術 1 レーザーによるもの	22,270 点		経尿道的尿路結石除去術は、腎結石症、腎盂結石症又は尿管結石症に対して経尿道的に内視鏡を腎、腎盂又は尿管内に挿入し、電気水压衝撃波、弾性衝撃波、超音波又はレーザー等により結石を破碎し、バスケットワイヤーカテーテル等を用いて摘出する場合に算定する。ただし、透視下にバスケットワイヤーカテーテルのみを用いて、碎石を行わず結石の摘出のみを行った場合は、区分番号「K798」膀胱結石、異物摘出術の「1」に準じて算定する。	レーザー手術装置 (III)
㉔	K781-3	経尿道的腎盂尿管凝固止血術	8,250 点		経尿道的腎盂尿管凝固止血術は、画像診断、血液学的検査、尿細胞診検査によっても原因が特定できない肉眼的血尿に対し、腎盂尿管鏡を用いて出血部位を特定し、Ho-YAG レーザー等を用いて、止血を行った場合に算定する。なお、内視鏡検査及び使用するレーザー等に係る費用は所定点数に含まれ、別に算定できない。	
	K841-2	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術			(1) 経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術は、膀胱・尿道鏡下に行われた場合に算定し、超音波ガイド下に行われた場合は算定できない。 (2) 使用されるレーザープローブの費用等レーザー照射に係る費用は所定点数に含まれ、別に算定できない。 (3) ネオジウム・ヤグ倍周波数レーザー（グリーンレーザー）又はダイオードレーザーによる経尿道的前立腺蒸散術を行った場合には、「1」に掲げる所定点数を算定する。	
㉕		1 ホルミウムレーザー又は倍周波数レーザーを用いるもの	20,470 点			レーザー手術装置 (I)

*1 現況：○=販売中、△=消耗品の提供やメンテナンス等の対応はされているが販売は終了。
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザー協会による調査に対する回答による。

一般的名称	装置名	製販業者名	販売会社名	現況 ^{*1}
ダイオードレーザー	ELVeS レーザー ELVeS レーザー 1470 ヴェノレーザー TR 1470	株式会社インテグラル 株式会社インテグラル 株式会社ユニタック	株式会社インテグラル 株式会社インテグラル 株式会社ユニタック	△ ○ ○
PDT エキシマレーザー				
体内挿入式レーザー結石破碎装置 色素レーザー ホルミウム・ヤグレーザー バルスホルミウム・ヤグレーザー 色素・アレキサンドライトレーザー	オデッセイ 30 B-1 オデッセイ 30 スフィンクス・ジュニア ドルニエ Medilas H Solvo ドルニエ Medilas H Solvo35 ドルニエ Medilas H UroPulse Lumenis バルス 120H バーサバルス セレクト 80:100 Quanta Litho レーザ エダップテクノメド株式会社 Quanta Cyber Ho レーザ Quanta Cyber Ho 100W レーザ Quanta Litho EVO レーザ 飛鳥半導体レーザー ADL-20 バーサバルス セレクト 80:100	すみれ医療株式会社 タカイ医科工業株式会社 タカイ医科工業株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 株式会社日本ルミナス 株式会社日本ルミナス エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 株式会社日本ルミナス	すみれ医療株式会社 タカイ医科工業株式会社 タカイ医科工業株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 株式会社日本ルミナス 株式会社日本ルミナス エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 株式会社日本ルミナス	○ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ △ ○
ホルミウム・ヤグレーザー バルスホルミウム・ヤグレーザー	オデッセイ 30 スフィンクス・ジュニア ドルニエ Medilas H Solvo ドルニエ Medilas H Solvo35 ドルニエ Medilas H UroPulse Lumenis バルス 120H バーサバルス セレクト 80:100 オデッセイ 30 B-1 Quanta Litho レーザ Quanta Cyber Ho レーザ Quanta Cyber Ho 100W レーザ Quanta Litho EVO レーザ	タカイ医科工業株式会社 タカイ医科工業株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 株式会社日本ルミナス 株式会社日本ルミナス すみれ医療株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社	タカイ医科工業株式会社 タカイ医科工業株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 ドルニエメドテックジャパン株式会社 株式会社日本ルミナス 株式会社日本ルミナス すみれ医療株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社 エダップテクノメド株式会社	△ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
ネオジウム・ヤグ倍周波数レーザー	AMS GreenLight HPS コンソール GreenLight XPS コンソール	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	△ ○
ダイオードレーザー	Ceralas HPD レーザー	株式会社インテグラル	株式会社インテグラル	○

Table 1 Laser devices arranged in the order of insurance classification.

番号	区分	名 称	保険点数	留意事項	通知（令和 04 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号）	特定診療報酬算定医療機器の区分
㉔		2 ツリウムレーザーを用いるもの	18,190 点			
㉕		3 その他のもの	19,000 点			
㉘	K867-4	子宮頸部異形成上皮又は上皮内癌レーザー照射治療	3,330 点			
㉙	K872-5	子宮頸部初期癌又は異形成光線力学療法	8,450 点		子宮頸部初期癌又は異形成光線力学療法は、ボルフィマーナトリウムを投与した患者に対しエキシマ・ダイ・レーザー（波長 630nm）及び YAG-OPO レーザーを使用した場合など、保険適用された薬剤、機器を用いて行った場合に限り算定できる。	レーザー手術装置（II）
㉚	K910-2	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	40,000 点		内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術は双胎間輸血症候群と診断された患者に対し、双胎間輸血症候群の十分な経験を有する医師の下で行われた場合に算定する。	
㉛	K939-7	レーザー機器加算 1 レーザー機器加算 1 2 レーザー機器加算 2 3 レーザー機器加算 3 注 1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、レーザー照射により手術を行った場合に算定する。 注 2 1 については、区分番号 K406(1 に限る。), K413（1 に限る。), K421（1 に限る。), K423（1 に限る。）及び K448 に掲げる手術に当たって、レーザー手術装置を使用した場合に算定する。 注 3 2 については、区分番号 K413(2 に限る。）に掲げる手術に当たって、レーザー手術装置を使用した場合に算定する。 注 4 3 については、区分番号 K406(2 に限る。), K409, K411, K421(2 に限る。), K423（2 に限る。), K451 及び K452 に掲げる手術に当たって、レーザー手術装置を使用した場合に算定する。 K406 □蓋腫瘍摘出術 1 □蓋粘膜に限局するもの 520 点 2 □蓋骨に及ぶもの 8,050 点 K409 □腔底腫瘍摘出術 7,210 点 K411 頬 粘膜腫瘍摘出術 4,460 点 K413 舌腫瘍摘出術 1 粘液嚢胞摘出術 1,220 点 2 その他のもの 2,940 点 K421 □唇腫瘍摘出術 1 粘液嚢胞摘出術 1,020 点 2 その他のもの 3,050 点 K423 頬 腫瘍摘出術 1 粘液嚢胞摘出術 910 点 2 その他のもの 5,250 点 K448 がま腫切開術 820 点 K451 がま腫摘出術 7,140 点 K452 舌下腺腫瘍摘出術 7,180 点	50 点 100 点 200 点		レーザー機器加算は、口腔内の軟組織の切開、止血、凝固及び蒸散が可能なものとして保険適用されている機器を使用して「注 2」から「注 4」までに掲げる手術を行った場合に算定する。なお、通則 14 に規定する「同一手術野又は同一病巣につき、2 以上の手術を同時に行った場合」に該当しない 2 以上の手術を算定した場合はそれぞれの手術において算定する。	レーザー手術装置（VII）

*1 現況：○=販売中、△=消耗品の提供やメンテナンス等の対応はされているが販売は終了。
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザー協会による調査に対する回答による。

一般的名称	装置名	製販業者名	販売会社名	現況 ^{*1}
ツリウム・ヤグレーザー	レボリックス 120	タカイ医科工業株式会社	タカイ医科工業株式会社	○
	レボリックス 200	タカイ医科工業株式会社	タカイ医科工業株式会社	○
	Quanta Cyber TM 200W レーザ	エダップテクノメド株式会社	エダップテクノメド株式会社	○
	飛鳥半導体レーザー ADL-20	飛鳥メディカル株式会社	飛鳥メディカル株式会社	△
炭酸ガスレーザー ネオジミウム・ヤグレーザー エキシマレーザー 色素レーザー 一酸化炭素レーザー エルビウム・ヤグレーザー アルゴン・クリプトンレーザー ルビーレーザー 銅蒸気レーザー 色素・アレキサンドライトレーザー クリプトンレーザー ヘリウム・カドミウムレーザー KTP レーザ	エスレーザー ESPRIT	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック	○
	エスレーザー Smart	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック	△
	アロウ-2001	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社クロスアローズ	△
	ベルレーザー	タカラメディカル株式会社	タカラベルモント株式会社	○
	ドルニエ Medilas fivertom 8100	ドルニエメドテックジャパン株式会社	ドルニエメドテックジャパン株式会社	△
	ドルニエ メディラス ファイバートム 5060/5100	ドルニエメドテックジャパン株式会社	ドルニエメドテックジャパン株式会社	△
	バーサバリス セレクト 80:100	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	レザウイン II	株式会社モリタ製作所	株式会社モリタ製作所	○
	レザック CO2-25	白水貿易株式会社	株式会社レザック	△
	NEW レザック	白水貿易株式会社	株式会社レザック	○
	飛鳥半導体レーザー ADL-20	飛鳥メディカル株式会社	飛鳥メディカル株式会社	△
	PDT エキシマレーザー			
ネオジミウム・ヤグレーザー	ストリーク STREAK- I	株式会社アルテック	株式会社アルテック	○
	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	バーサバリス セレクト 80:100	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
ダイオードレーザー	オサダユニサージ 30	長田電機工業株式会社	株式会社オサダメディカル 長田電機工業株式会社	○
	オサダライトサージスクエア 5	長田電機工業株式会社	株式会社オサダメディカル 長田電機工業株式会社	○
	オサダライトサージセルビー	長田電機工業株式会社	長田電機工業株式会社	○
	飛鳥半導体レーザー ADL-20	飛鳥メディカル株式会社	飛鳥メディカル株式会社	△
	オペレーター 25	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	炭酸ガスレーザー			
炭酸ガスレーザー	スマート・サイド	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクスパンション サービスジャパン株式会社	○
	スマートサイド・タッチ	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクスパンション サービスジャパン株式会社	○
	エスレーザー ESPRIT	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック	○
	エスレーザー Smart	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック	△
	アロウ-2001	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社クロスアローズ	△
	ベルレーザー	タカラメディカル株式会社	タカラベルモント株式会社	○
	レザック CO2-25	白水貿易株式会社	株式会社レザック	△
	NEW レザック	白水貿易株式会社	株式会社レザック	○
	レザウイン II	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ製作所	○
	レザウイン CH S	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ製作所	△
	オペレーター 28	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	オペレーター 29	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	オペレーター NEOS	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	AcuPulse 40W DUO CO2 レーザ	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	ウルトラバリス アンコア 60W 炭酸ガスレーザーシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	エルビウム・ヤグレーザー			
	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	アーウイン アドベール	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ	○

Table 1 Laser devices arranged in the order of insurance classification.

番号	区分	名 称	保険点数	留意事項	通知（令和 04 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号）	特定診療報酬算定 医療機器の区分
歯科						
⑫	I029-3	口腔粘膜処置（一口腔につき） 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、レーザー照射により当該処置を行った場合に算定する。ただし、2 回目以降の口腔粘膜処置の算定は、前回算定日から起算して 1 月経過した日以降に行った場合に限り、月 1 回に限り算定する。	30 点		(1) 口腔粘膜処置は、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生（支）局長等に届け出た保険医療機関において、再発性アフタ性口内炎の小アフタ型病変に対してレーザー照射を行った場合に 1 月につき 1 回に限り算定する。なお、当該処置の実施にあたっては「レーザー応用による再発性アフタ性口内炎治療に関する基本的な考え方」（平成 30 年 3 月日本歯科医学会）を参考にすること。 (2) 前回算定した日の属する月に前回照射した部位と異なる部位に生じた再発性アフタ性口内炎に対して当該処置を実施した場合の費用は、所定点数に含まれ、別に算定できない。 (3) レーザー照射を行った場合は、病変の部位及び大きさ等を診療録に記載すること。	レーザー手術装置（Ⅰ）
⑬	J035-2	口腔粘膜血管腫凝固術（一連につき） 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、レーザー照射により当該手術を実施した場合に算定する。	2,000 点		(1) 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生（支）局長等に届け出た保険医療機関において、口腔・顎・顔面領域に生じた血管腫・血管奇形に対して、レーザー照射した場合に一連につき 1 回に限り算定する。 (2) 「一連」とは、治療の対象となる疾患に対して所期の目的を達するまでに行う一連の治療過程をいう。例えば、対象病変部位の一部ずつに照射する場合や、全体に照射することを数回繰り返して一連の治療とする場合は、1 回のみ所定点数を算定する。 (3) レーザー照射を行った場合は、病変の部位及び大きさ等の病変の状態について診療録に記載すること。	レーザー手術装置（Ⅱ）
⑭	J063	歯周外科手術（1 歯につき）			(20) 「注 5」に規定する加算におけるレーザー照射とは、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生（支）局長に届け出た保険医療機関において、歯肉剥離掻爬手術又は歯周組織再生誘導手術において、明視下で蒸散により歯根面の歯石除去を行うことが可能なものとして保険適用となっているレーザーによる照射をいう。	歯石除去用レーザー
		4 歯肉剥離掻爬手術	630 点			
		5 歯周組織再生誘導手術 イ 1 次手術（吸収性又は非吸収性膜の固定を伴うもの） ロ 2 次手術（非吸収性膜の除去） 注 5 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、4 又は 5 について、レーザー照射により当該手術の対象歯の歯根面の歯石除去等を行った場合は、手術時歯根面レーザー応用加算として、60 点を所定点数に加算する。	840 点 380 点			

*1 現況：○=販売中、△=消耗品の提供やメンテナンス等の対応はされているが販売は終了。
（注）2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザー協会による調査に対しての回答による。

一般的名称	装置名	製販業者名	販売会社名	現況 ^{*1}
ネオジミウム・ヤグレーザー	ストリーク STREAK-Ⅰ	株式会社アルテック	株式会社アルテック	○
	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	バーサバルス セレクト 80:100	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
ダイオードレーザー	オサダユニサージ 30	長田電機工業株式会社	株式会社オサダメディカル 長田電機工業株式会社	○
	オサダライトサージスクエア 5	長田電機工業株式会社	株式会社オサダメディカル 長田電機工業株式会社	○
	オサダライトサージセルビー	長田電機工業株式会社	長田電機工業株式会社	○
	S レーザー	昭和薬品化工株式会社	株式会社ジーシー	○
	Sheep810	株式会社ユニタック	株式会社ユニタック	○
	オペレーター 25	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	炭酸ガスレーザー			
	エスレーザー ESPRIT	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック	○
	エスレーザー Smart	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック	△
	アロウ-2001	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社クロスアローズ	△
	ジーシー ガスレーザー	株式会社ジーシー	株式会社ジーシー	○
	ジーシー ナノレーザー GL-Ⅲ	株式会社ジーシー	株式会社ジーシー	△
	レザック CO2-25	白水貿易株式会社	株式会社レザック	△
	NEW レザック	白水貿易株式会社	株式会社レザック	○
	スマートサイド	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクスパンション サービスジャパン株式会社	○
	スマートサイド・タッチ	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクスパンション サービスジャパン株式会社	○
	ベルレーザー	タカラメディカル株式会社	タカラベルモント株式会社	○
	AcuPulse 40W DUO CO2 レーザ	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	ウルトラバブルス アンコア 60W 炭酸ガスレーザーシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	レザウインⅡ	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ製作所	○
	レザウイン CH 5	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ製作所	△
	オペレーター 28	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	オペレーター 29	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	オペレーター NEOS	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
エルビウム・ヤグレーザー	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	アーウィン アドベール	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ	○
罹患象牙質除去機能付レーザー				
KTP レーザ				
ネオジミウム・ヤグレーザー	ストリーク STREAK-Ⅰ	株式会社アルテック	株式会社アルテック	○
	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	バーサバルス セレクト 80:100	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
色素レーザー				
エルビウム・ヤグレーザー	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	アーウィン アドベール	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ	○

Table 1 Laser devices arranged in the order of insurance classification.

番号	区分	名 称	保険点数	留意事項	通知 (令和 04 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号)	特定診療報酬算定 医療機器の区分
㉔	J200-4-2	レーザー機器加算 1 レーザー機器加算 1 2 レーザー機器加算 2 3 レーザー機器加算 3 注 1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、レーザー照射により手術を行った場合に算定する。 注 2 1 については、区分番号 J008 (1 に限る。), J009 (1 及び 2 に限る。), J017 (1 に限る。), J019 (1 に限る。), J027, J030 (1 に限る。), J033 (1 に限る。) 及び J051 に掲げる手術に当たって、レーザー手術装置を使用した場合に算定する。 注 3 2 については、区分番号 J008 (2 に限る。), J009 (3 に限る。) 及び J017 (2 に限る。) に掲げる手術に当たって、レーザー手術装置を使用した場合に算定する。 注 4 3 については、区分番号 J015, J019 (2 に限る。), J020, J030 (2 に限る。), J033 (2 に限る。), J034, J052 及び J054 に掲げる手術に当たって、レーザー手術装置を使用した場合に算定する。 J008 歯肉、歯槽部腫瘍手術 (エプーリスを含む。) 1 軟組織に局限するもの 600 点 2 硬組織に及ぶもの 1,300 点 J009 浮動歯肉切除術 1 3 分の 1 顎程度 400 点 2 2 分の 1 顎程度 800 点 3 全顎 1,600 点 J015 口腔底腫瘍摘出術 7,210 点 J017 舌腫瘍摘出術 1 粘液嚢胞摘出術 1,220 点 2 その他のもの 2,940 点 J019 口蓋腫瘍摘出術 1 口蓋粘膜に局限するもの 520 点 2 口蓋骨に及ぶもの 8,050 点 J020 口蓋混合腫瘍摘出術 5,600 点 J027 頬、口唇、舌小帯形成術 630 点 J030 口唇腫瘍摘出術 1 粘液嚢胞摘出術 1,020 点 2 その他のもの 3,050 点 J033 頬 腫瘍摘出術 1 粘液嚢胞摘出術 910 点 2 その他のもの 5,250 点 J034 頬 粘膜腫瘍摘出術 4,460 点 J051 かま腫切開術 820 点 J052 かま腫摘出術 7,140 点 J054 舌下腺腫瘍摘出術 7,180 点	50 点 100 点 200 点		レーザー機器加算は、口腔内の軟組織の切開、止血、凝固及び蒸散が可能なものとして保険適用されている機器を使用して「注 2」から「注 4」までに掲げる手術を行った場合に算定する。なお、通則 13 に規定する「同一手術野又は同一病巣につき、2 以上の手術を同時に行った場合」に該当しない 2 以上の手術を算定した場合はそれぞれの手術において算定する。	レーザー手術装置 (1)
㉕	M001	歯冠形成 (1 歯につき) 3 窩洞形成 イ 単純なもの ロ 複雑なもの 注 9 3 について、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、レーザー照射により無痛的に窩洞形成を行った場合は、う蝕歯無痛の窩洞形成加算として、40 点を所定点数に加算する。	60 点 86 点		(13)「注 9」の加算におけるレーザー照射とは、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生 (支) 局長に届け出た保険医療機関において、充填処置のためのう蝕除去及び窩洞形成が可能な「う蝕除去・窩洞形成レーザー」による照射をいう。 (14)「注 9」の加算とは、エアータービン等歯科用切削器具を用いることなく、レーザーを応用して疼痛の発現を抑制しながら、う蝕歯の充填処置のためのう蝕除去及び窩洞形成を行うことを評価したものをいい、エアータービン等切削器具を用いた場合は算定できない。なお、窩洞形成を行うに当たり区分番号 K000 に掲げる伝達麻酔を行った場合は本加算は算定できない。	う蝕除去・窩洞形成 レーザー
㉖	M001-2	う蝕歯即時充填形成 (1 歯につき) 注 1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、レーザー照射により無痛的にう蝕歯即時充填形成を行った場合は、う蝕歯無痛の窩洞形成加算として、40 点を所定点数に加算する。	128 点		(4)「注 1」の加算におけるレーザー照射とは、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生 (支) 局長に届け出た保険医療機関において、充填処置のためのう蝕除去及び窩洞形成が可能な「う蝕除去・窩洞形成レーザー」による照射をいう。 (5)「注 1」の加算とは、エアータービン等歯科用切削器具を用いることなく、レーザーを応用して疼痛の発現を抑制しながら、う蝕歯のう蝕歯即時充填形成のためのう蝕除去及び窩洞形成を行うことを評価したものをいい、エアータービン等切削器具を用いた場合は算定できない。なお、う蝕歯即時充填形成を行うに当たり区分番号 K000 に掲げる伝達麻酔を行った場合は本加算は算定できない。	う蝕除去・窩洞形成 レーザー

*1 現況：○=販売中, △=消耗品の提供やメンテナンス等の対応はされているが販売は終了。
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザー協会による調査に対する回答による。

一般的名称	装置名	製販業者名	販売会社名	現況 ^{*1}
ネオジウム・ヤグレーザ	ストリーク STREAK- I	株式会社アルテック	株式会社アルテック	○
	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
ダイオードレーザ	オサダユニサージ 30	長田電機工業株式会社	株式会社オサダメディカル 長田電機工業株式会社	○
	オサダライトサージスクエア 5	長田電機工業株式会社	株式会社オサダメディカル 長田電機工業株式会社	○
	オサダライトサージセルビー	長田電機工業株式会社	長田電機工業株式会社	○
	S レーザー	昭和薬品化工株式会社	株式会社ジーシー	○
	Sheep810	株式会社ユニタック	株式会社ユニタック	○
	オペレーター 25	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	エスレーザー ESPRIT	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック	○
炭酸ガスレーザ	エスレーザー Smart	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック	△
	アロウ-2001	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社クロスアローズ	△
	ジーシー ガスレーザー	株式会社ジーシー	株式会社ジーシー	○
	ジーシー ナノレーザー GL- III	株式会社ジーシー	株式会社ジーシー	△
	ベルレーザー	タカメディカル株式会社	タカラベルモント株式会社	○
	AcuPulse 40W DUO CO2 レーザ	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	ウルトラパルス アンコア 60W 炭酸ガスレーザーシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	○
	レザウィン II	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ製作所	○
	レザウィン CH S	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ製作所	△
	オペレーター 28	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	オペレーター 29	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	オペレーター NEOS	株式会社吉田製作所	株式会社吉田製作所	○
	レザック CO2-25	白水貿易株式会社	株式会社レザック	△
	NEW レザック	白水貿易株式会社	株式会社レザック	○
	スマートサイド	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクспанション サービスジャパン株式会社	○
エルビウム・ヤグレーザ	スマートサイド・タッチ	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクспанション サービスジャパン株式会社	○
	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
エルビウム・ヤグレーザ	アーウィン アドベール	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ	○
罹患象牙質除去機能付レーザ				
エルビウム・ヤグレーザ	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック	○
	アーウィン アドベール	株式会社 モリタ製作所	株式会社 モリタ	○
罹患象牙質除去機能付レーザ				

Table 2 Special treatment materials related to laser device.

番号	特定診療報酬算定 / 決定機能区分	償還価格	定義（令和4年3月4日保医発0304第12号）
1	187 半導体レーザー用プローブ	229,000 円	187 半導体レーザー用プローブ 次のいずれにも該当すること。 (1) 薬事承認又は認証上、類別が「機械器具（31）医療用焼灼器」であって、一般的名称が「単回使用 PDT 半導体レーザー用プローブ」であること。 (2) 化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道癌に対して光線力学療法を実施する際又は切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌に対してレーザー光照射を実施する際に、PDT 半導体レーザーに接続し、レーザー光を照射対象に照射するために用いられる半導体レーザー用プローブであること。

(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザ協会による調査に対するの回答による。

Table 3 Approved medical device of light-delivery system related to laser device.

番号	一般的名称	販売名	製販業者名	販売会社名	承認年月日
1	単回使用 PDT 半導体レーザー用プローブ	EC-PDT プローブ	Meiji Seika ファルマ株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社	平成 27 年 5 月 26 日
2	単回使用レーザガイド用プローブ	フレキシバ・アキュマックスレーザファイバ	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	平成 27 年 12 月 14 日
3	単回使用レーザガイド用プローブ	AMS GreenLight HPS ファイバー	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	平成 23 年 4 月 18 日
4	単回使用レーザガイド用プローブ	GreenLight XPS ファイバー	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	平成 30 年 10 月 18 日
5	単回使用レーザガイド用プローブ	Quanta 用レーザーファイバー	エダップテクノメド株式会社	エダップテクノメド株式会社	令和 3 年 2 月 24 日
6	単回使用レーザガイド用プローブ	Lumenis ホルミウムファイバー	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	平成 29 年 6 月 27 日
7	単回使用レーザガイド用プローブ	Xpeeda ファイバー	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	平成 28 年 3 月 30 日
8	レーザー処置用能動器具	スリムライン ファイバー	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	平成 22 年 3 月 26 日
9	レーザ供給装置用光ファイバ	飛鳥レーザアクセサリ	飛鳥メディカル株式会社	飛鳥メディカル株式会社	平成 25 年 9 月 9 日
10	レーザ供給装置用光ファイバ	コンタクトレーザーファイバー	株式会社アルテック	株式会社アルテック	平成 15 年 5 月 16 日
11	レーザ用コンタクトチップ	モリタ アーウィン チップ	株式会社モリタ製作所	株式会社モリタ	平成 13 年 4 月 13 日
12	レーザ用コンタクトチップ	レザチップ	株式会社モリタ製作所	株式会社モリタ製作所	平成 15 年 12 月 4 日
13	眼科手術用レーザーレンズ	トリートメントバック	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社	平成 27 年 8 月 25 日
14	眼科用レーザー光凝固装置滅菌済みプローブ	アルコン ビュアポイント エンドオキュラプローブ	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社	平成 21 年 10 月 9 日
15	眼科用レーザー光凝固装置滅菌済みプローブ	アルコン ビュアポイント 照明付 エンドオキュラプローブ	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社	平成 21 年 10 月 9 日
16	眼科用レーザー光凝固装置滅菌済みプローブ	Lumenis レーザプローブ	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス	平成 23 年 10 月 27 日
15	眼科用レーザー光凝固装置滅菌済みプローブ	エンドフォトリバリ（滅菌済みプローブ）	株式会社ニデック	株式会社ニデック	平成 24 年 7 月 9 日
16	眼科用レーザー光凝固装置プローブ	エンドフォトリバリ（非滅菌済みプローブ）	株式会社ニデック	株式会社ニデック	平成 27 年 7 月 6 日

(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザ協会による調査に対するの回答による。

通知（令和4年3月4日保医発0304第9号）	販売名	製販業者名	保険適用開始日	承認番号
(1) 半導体レーザー用プローブは、切除不能な局所進行若しくは局所再発の頭頸部癌又は以下のいずれにも局所遺残再発食道癌に対して使用された場合に限り算定できる。 ア 外科的切除又は内視鏡的治療等の根治的治療が不可能であるもの イ 壁深達度が固有筋層を超えないもの ウ 長径が 3cm 以下かつ周在性が 1/2 周以下であるもの エ 頸部食道に及ばないもの オ 遠隔転移及びリンパ節転移のいずれも有さないもの (2) 半導体レーザー用プローブは、当該材料を用いた手技に関する所定の研修を修了した医師が使用した場合に限り算定できる。 (3) 半導体レーザー用プローブは、局所遺残再発食道癌に対して使用する場合は原則として 1 本を限度として算定するが、追加照射が必要となった場合に限り、更に 1 本を限度として追加で算定できる。ただし、2 本目を算定するに当たっては詳細な内視鏡所見を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。また、切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌に対して使用する場合は一連の治療につき 8 本を限度として算定できる。ただし、それ以上の本数の算定が必要な場合には、診療報酬明細書の摘要欄に詳細な理由を記載すること。	EC-PDT プローブ	Meiji Seika ファルマ株式会社	平成 27 年 10 月 1 日	22700BZX00165000

承認番号	使用目的又は効果
22700BZX00165000	化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道癌に対する光線力学的療法に使用する。
22700BZX00394000	本品は、柔軟な光ファイバ製の単回使用レーザーガイド用プローブである。生体組織の蒸散、焼灼、凝固、止血、切除、切開、尿路結石破砕術に用いることができる。
22300BZI00008000	本品は GreenLight HPS レーザ手術装置に接続する専用の経内視鏡（膀胱鏡）的側射ファイバーである。
23000BZX00306000	本品は、経内視鏡（膀胱鏡）的に良性前立腺肥大 / 過形成症（BPH）の治療に使用する。
30300BZX000054000	レーザ出力エネルギーを最終的な標的部（手術野等）に供給するために用いられる。内視鏡的処置、腹腔鏡的処置、及び観血的処置等において、生体組織の蒸散、焼灼、凝固、止血、切除、切開、結石破砕術等に用いることができる。
22900BZX00201000	レーザ装置から発振されたレーザ出力エネルギーを最終的な標的部（手術野等）に供給するために用いる単回使用のレーザガイド用プローブである。柔軟な光ファイバー製で、レーザ装置に接続し、生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破砕に用いる。
22800BZX00149000	レーザ装置から発振されたレーザ出力エネルギーを最終的な標的部（手術野等）に供給するために用いる単回使用のレーザガイド用プローブである。柔軟な光ファイバー製で、レーザ装置に接続し、生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破砕に用いる。
22200BZX00302000	レーザ装置から発振されたレーザ出力エネルギーを最終的な標的部（手術野等）に供給するために用いる反復使用のレーザガイド用プローブである。柔軟な光ファイバー製で、レーザ装置に接続し、生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破砕に用いる。
22500BZX00394000	使用目的：レーザ手術装置に接続し、非接触又は接触でレーザ光を照射する。 効能又は効果：生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散（照射方法空気中の非接触照射又は接触照射）
21500BZZ00284000	医療用レーザ光を用いて、非接触又は接触により生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散を行う。
21300BZZ00158000	口腔内病変組織の治療
21500BZZ00721000	販売名「アーウィン アドベール」のハンドピース用コンタクトチップとして使用する。
227AHBZX00031000	フェムトセカンドレーザ VISUMAX に併用して使用する。
22100BZX00981000	眼科用レーザ光凝固装置に接続し、レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば、網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に用いる。
22100BZX00982000	眼科用レーザ光凝固装置に接続し、レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば、網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に用いる。
22300BZX00417000	眼科用レーザ光凝固装置に接続して用いるプローブ状のデリバリシステムである。照明機能、吸引機能を備えたタイプもある。本品は単回使用である。
22400BZX00244000	眼科用レーザ光凝固装置に接続し、レーザの熱作用を利用して、網膜、虹彩、毛様体、又は隅角光凝固術による眼疾患の治療を行う。
22700BZX00198000	眼科用レーザ光凝固装置に接続し、レーザの熱作用を利用して、網膜、虹彩、毛様体、又は隅角光凝固術による眼疾患の治療を行う。

Table 4 Laser devices arranged in the order of wavelength.

番号	波長① (nm)	波長② (nm)	レーザの種類	販売名	製販業者名	販売会社名
1	193		エキシマレーザ (ArF)	VISX エキシマレーザースystem	エイエムオー・ジャパン株式会社	エイエムオー・ジャパン株式会社
2	193		エキシマレーザ (ArF)	エキシマレーザースystem MEL80	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
3	193		エキシマレーザ (ArF)	エキシマレーザースystem MEL90	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
4	193		エキシマレーザ (ArF)	アレグレット ウェーブ Eye-Q	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社
5	308		エキシマレーザ (XeCl)	エクストラック	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック
6	311		チタンサファイアレーザ	パラス	株式会社アルテック	株式会社アルテック
7	532	561/670	DPSS	インテグラ プロスキャン レーザ光凝固装置	エレックス株式会社	エレックス株式会社
8	532	561/670	DPSS	インテグラ プロ レーザ光凝固装置	エレックス株式会社	エレックス株式会社
9	532		DPSS	眼科用レーザ光凝固装置 Vitra 532 レーザシステム	エレックス株式会社	エレックス株式会社
10	532		DPSS	ビズラス 532s	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
11	532		DPSS	ビズラス 532s II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
12	532		DPSS	ビズラス green	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
13	532	561/659	DPSS	マルチカラーレーザ光凝固装置 ビズラス TRION	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
14	532	561/659	DPSS	マルチカラーレーザ光凝固装置 ビズラス TRION II	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
15	532		OPSL	グリーンレーザ光凝固装置 IQ532	株式会社トーマコーポレーション	株式会社トーマコーポレーション
16	532	577/577+638	OPSL	PASCAL Synthesis	株式会社トプコン	株式会社トプコンメディカルジャパン
17	532	577 / 647	DPSS/OPSL	マルチカラーレーザ光凝固装置 MC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック
18	532		OPSL	グリーンレーザ光凝固装置 GYC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック
19	532		Nd:YVO4	アルコン ビュアポイント 眼科用光凝固装置	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社
20	532		Nd:YVO4	コンステレーション ビジョンシステム	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社
21	532		Nd:YAG (Q スイッチ)	GreenLight XPS コンソール	ボストン・サイエンティフィック ジャパン(株)	ボストン・サイエンティフィック ジャパン(株)
22	532	577/659	DPSS	Vision One マルチカラーレーザ光凝固装置	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス
23	577		OPSL	眼科用レーザ光凝固装置 Navilas577s ナビゲーションレーザシステム	株式会社アンフィ	アキュラ株式会社
24	577		DPSS	眼科用レーザ光凝固装置 Easyret マルチスロットレーザシステム	エレックス株式会社	エレックス株式会社
25	577		DPSS	眼科用レーザ光凝固装置 Vitra 2 レーザシステム	エレックス株式会社	エレックス株式会社
26	577		OPSL	ビュアイエロー・レーザ光凝固装置 IQ577	株式会社トーマコーポレーション	株式会社トーマコーポレーション
27	577		OPSL	イエローレーザ光凝固装置 YLC-500	株式会社ニデック	株式会社ニデック
28	595		色素レーザ	皮膚良性血管病変治療用レーザ装置 Cynergy J	サイノシュアー株式会社	サイノシュアー株式会社
29	595		色素レーザ	皮膚良性血管病変治療用レーザ Vbeam	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
30	595		色素レーザ	皮膚良性血管病変治療用レーザ Vbeam II	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
31	595		色素レーザ	皮膚良性血管病変治療用レーザ Vbeam Prima	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
32	664		ダイオードレーザ	PD レーザ	Meiji Seika ファルマ株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社

*1 現況：○=販売中、△=消耗品の提供やメンテナンス等の対応をされているが販売は終了。
*2 保険：Table1 の同番号の治療で使用可能。
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザ協会による調査に対しての回答による。

承認年月日	承認番号	使用目的又は効果	現況 *1	保険 *2
平成 21 年 7 月 1 日	22100BZX00783000	治療的角膜切除術 (PTK) : 角膜表層の病変部の切除 角膜屈折矯正手術 (PRK) : 遠視及び遠視性乱視を除く屈折異常の矯正 角膜屈折矯正手術 (LASIK) :-0.5D から -6.0D の近視又は乱視度が -3.0D 以下かつ等価球面度数が -6.0D 以下の近視性乱視の矯正	△	⑥
平成 20 年 4 月 9 日	22000BZY00017000	角膜屈折矯正手術の LASIK に使用する。	○	-
平成 26 年 11 月 14 日	22600BZX00464000	角膜屈折矯正手術の LASIK に使用する。	○	-
平成 28 年 10 月 27 日	22300BZX00418000	レーザ角膜内切削形成術 [LASIK] : 近視及び近視性乱視の矯正 20 歳以上の眼鏡またはコンタクトレンズの装用に支障がある者で、本手術の問題点、合併症を含めた十分な説明を受け、納得し、かつ以下のいずれかに該当するもの。 ・ -6.0D 以下の近視 ・ -5.0D 以下の乱視 ただし、術前 1 年間以上、等価球面値の変動が 0.5D 以下で、屈折度数の安定が問診あるいは診療記録にて確認できた症例を対象とする。	△	-
平成 30 年 12 月 11 日	23000BZX00376000	本品は、中波紫外線領域の対象となる皮膚疾患の治療を目的とする、波長 308nm のエキシマレーザである。	○	①
令和 2 年 12 月 7 日	30200BZX00385000	本品は、乾癬、類乾癬、掌跖膿疱症、菌状肉腫 (症)、悪性リンパ腫、慢性苔癬状皰疹、尋常性白斑、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症等の中波紫外線療法の対象となる皮膚疾患の治療に用いる、波長 311nm のチタンサファイアレーザである。	○	①
平成 27 年 12 月 16 日	22700BZI00045000	レーザによる熱作用を利用して、眼疾患の治療 (網膜・虹彩・隅角光凝固術) に用いる。	○	⑪
平成 24 年 4 月 3 日	22400BZI00005000	レーザによる熱作用を利用して、眼疾患の治療 (網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固術) に用いる。	○	⑪
平成 29 年 7 月 6 日	22900BZI00021000	レーザによる熱作用を利用して、眼疾患の治療 (網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固術) に用いる。	○	⑪
平成 20 年 3 月 25 日	22000BZX00236000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば、網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に使用する。	○	⑧⑨⑩⑪
平成 22 年 10 月 21 日	22200BZX00872000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば、網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に使用する。	△	⑧⑨⑩⑪
令和 1 年 10 月 17 日	30100BZX00173000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば、網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に使用する。	○	⑧⑨⑩⑪
平成 20 年 9 月 26 日	22000BZX01435000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば、網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に使用する。	△	⑧⑨⑩⑪
平成 23 年 3 月 29 日	22300BZX00180000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば、網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に使用する。	△	⑧⑨⑩⑪
平成 25 年 3 月 29 日	22500BZX00168000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患治療に用いる。例えば、網膜・虹彩・毛様体又は隅角光凝固による眼疾患治療。	○	-
平成 25 年 10 月 23 日	22500BZX00470000	網膜光凝固、黄斑浮腫に対する閾値下治療、解放隅角緑内障用閾値下治療	○	⑧⑨⑩⑪
平成 20 年 7 月 22 日	22100BZX00215000	レーザの熱作用を利用して、網膜、虹彩、毛様体、または隅角光凝固術による眼疾患の治療を行う。	○	⑧⑩⑪
平成 27 年 1 月 6 日	22700BZX00197000	レーザの熱作用を利用して、網膜、虹彩、毛様体、または隅角光凝固術による眼疾患の治療を行う。	○	⑧⑩⑪
平成 21 年 9 月 30 日	22100BZX00970000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば、網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に用いるものである。	○	㉔
平成 22 年 12 月 1 日	22200BZX00923000	硝子体手術及び白内障手術に用いる。また、レーザの熱作用を利用して、眼疾患の治療、例えば網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固に用いる。	○	⑧⑩⑪
平成 30 年 10 月 18 日	23000BZX00307000	本品は、経内視鏡 (膀胱鏡) 的に良性前立腺肥大 / 過形成症 (BPH) の治療に使用する。	○	⑧⑨⑩⑪
平成 24 年 9 月 26 日	22400BZX00353000	レーザの熱作用を利用して、網膜、虹彩、毛様体、又は隅角光凝固術による眼疾患の治療を行う。	○	⑪
平成 29 年 3 月 27 日	29000BZI00005000	レーザによる熱作用を利用して、眼疾患の治療 (網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固術) に用いる。	○	⑪
平成 30 年 1 月 22 日	23000BZI00004000	レーザによる熱作用を利用して、眼疾患の治療 (網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固術) に用いる。	○	⑧⑩⑪
令和 3 年 10 月 21 日	30300BZI00033000	レーザによる熱作用を利用して、眼疾患の治療 (網膜・虹彩・毛様体・隅角光凝固術) に用いる。	○	②
平成 23 年 4 月 12 日	22300BZX00204000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患治療に用いる。例えば、網膜・虹彩・毛様体又は隅角光凝固による眼疾患治療。	○	②
平成 28 年 4 月 11 日	22800BZX00241000	レーザの熱作用を利用して、網膜、虹彩、毛様体、または隅角光凝固術による眼疾患の治療を行う。	○	⑧⑩⑪
平成 28 年 3 月 22 日	22800BZX00114000	皮膚良性血管病変 (単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症) の治療に使用する。	○	②
平成 22 年 4 月 21 日	222000BX00002000	本装置は、皮膚良性血管病変 (単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症) の治療を目的とする。	△	⑮⑱
平成 28 年 9 月 30 日	22800BZX00358000	本装置は、皮膚良性血管病変 (単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症) の治療を目的とする。	○	⑤
令和 1 年 9 月 17 日	30100BZX00145000	本装置は、皮膚良性血管病変 (単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症) の治療を目的とする。	○	⑪
平成 16 年 1 月 7 日	21600BZZ00026000	本品は下記対象疾患に対する光線力学的療法に使用することを目的としたレーザ装置であり、以下の医薬品とあわせて使用する。 (併用医薬品) 一般名: タラポルフィンナトリウム 販売名: 注射用レザフィリン *100mg (対象疾患) (1) 外科的切除等の他の根治的治療が不可能な場合、あるいは、肺機能温存が必要な患者に他の治療法が使用できない場合で、かつ、内視鏡的に病巣全容が観察でき、レーザ光照射が可能な下記疾患。 早期肺癌 (病期 0 期又は I 期肺癌) (2) 化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道癌	○	⑪

Table 4 Laser devices arranged in the order of wavelength.

番号	波長① (nm)	波長② (nm)	レーザの種類	販売名	製販業者名	販売会社名
33	664		ダイオードレーザ	PD レーザ BT	Meiji Seika ファルマ株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社
34	689		非発熱性ダイオードレーザ	眼科用 PDT レーザ装置 VitraPDT レーザシステム	エレックス株式会社	エレックス株式会社
35	689		ダイオードレーザ	ビズラス PDT システム 690s	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
36	689		ダイオードレーザ	ビズラス PDT システム 690plus	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
37	694		ルビーレーザ (Q スイッチ)	QープラスーR	Quanta System SpA	ビッグブルー株式会社
38	694		ルビーレーザ (Q スイッチ)	ナノスターアール	株式会社メディカルユーアンドエイ	株式会社メディカルユーアンドエイ
39	694		ルビーレーザ (Q スイッチ)	ザ・ルビー nano_Q	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック
40	694		ルビーレーザ (ノーマル, Q スイッチ)	ザ・ルビー Z1 Nexus	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック
41	755		アレキサンドライトレーザ	モータスエーエックス	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクспанション サービスジャパン株式会社
42	755	1064	アレキサンドライトレーザ Nd:YAG	Excel HR システム	キュテラ株式会社	キュテラ株式会社
43	755	1064	アレキサンドライトレーザ Nd:YAG	ロングハルス長期減毛用レーザ Elite+	サイノシュアー株式会社	サイノシュアー株式会社
44	755		アレキサンドライトレーザ (ピコ)	皮膚良性色素性疾患治療用レーザ装置 PicoSure	サイノシュアー株式会社	サイノシュアー株式会社
45	755		アレキサンドライトレーザ (Q スイッチ)	皮膚良性色素性疾患治療用レーザ装置 Accolade J	サイノシュアー株式会社	サイノシュアー株式会社
46	755		アレキサンドライトレーザ (Q スイッチ)	皮膚良性色素性疾患治療用レーザ装置 ALEX II	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
47	755		アレキサンドライトレーザ	長期減毛・色素性疾患用レーザ装置 GentleLase Pro	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
48	755	1064	アレキサンドライトレーザ Nd:YAG	長期減毛・色素性疾患用レーザ装置 GentleMax Pro	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
49	755	1064	アレキサンドライトレーザ Nd:YAG	長期減毛・色素性疾患用レーザ装置 GentleMax Pro Plus	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
50	755	1064	アレキサンドライトレーザ Nd:YAG	SPLENDOR X レーザシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス
51	805		ダイオードレーザ	LightSheer Duet ダイオードレーザシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス
52	805	1060	ダイオードレーザ	LightSheer Quattro ダイオードレーザシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス
53	808	940	ダイオードレーザ	メディオスターネクストプロ	株式会社メディカルユーアンドエイ	株式会社メディカルユーアンドエイ
54	808	940	ダイオードレーザ	長期減毛用ダイオードレーザーメディオスターモノリス	株式会社メディカルユーアンドエイ	株式会社メディカルユーアンドエイ
55	808		ダイオードレーザ	オサダライトサージスクエア 5	長田電機工業株式会社	長田電機工業株式会社
56	808		ダイオードレーザ	オサダユニサージ 30	長田電機工業株式会社	長田電機工業株式会社
57	808		ダイオードレーザ	オサダライトサージセルビー	長田電機工業株式会社	長田電機工業株式会社
58	808		ダイオードレーザ	S レーザー	昭和薬品化工株式会社	株式会社ジューシー
59	808		ダイオードレーザ	フォーマ・アルファ	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック
60	808		ダイオードレーザ	オペレーター 25	株式会社吉田製作所	株式会社ヨシダ
61	810		ダイオードレーザ	半導体レーザ装置 CYCLO G6	株式会社トーマーコーポレーション	株式会社トーマーコーポレーション
62	810		ダイオードレーザ	飛鳥半導体レーザ ADL-20	飛鳥メディカル株式会社	飛鳥メディカル株式会社
63	810		ダイオードレーザ	Sheep810	株式会社ユニタック	株式会社ユニタック
64	830		ダイオードレーザ	オーレイズ -3D1	株式会社日本医用レーザー研究所	株式会社日本医用レーザー研究所
65	830		ダイオードレーザ	オーレイズ HT2001	株式会社日本医用レーザー研究所	株式会社日本医用レーザー研究所
66	830		ダイオードレーザ	Sheep	株式会社ユニタック	株式会社ユニタック
67	980		ダイオードレーザ	ELVeS レーザー	株式会社インテグラル	株式会社インテグラル
68	980		ダイオードレーザ	Ceralas HPD レーザー	株式会社インテグラル	株式会社インテグラル
69	1030		フェムトセカンドレーザ	カタリス プリシジョン レーザー	エイエムオー・ジャパン株式会社	エイエムオー・ジャパン株式会社
70	1030		フェムトセカンドレーザ	LenSx 眼科用レーザ手術装置	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社
71	1030		フェムトセカンドレーザ	ウェーブライト フェムトセカンドレーザー FS200	日本アルコン株式会社	日本アルコン株式会社
72	1043		フェムトセカンドレーザ	フェムトセカンドレーザ VISUMAX	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
73	1053		フェムトセカンドレーザ	アドバンスト フェムトセカンドレーザー	エイエムオー・ジャパン株式会社	エイエムオー・ジャパン株式会社

*1 現況：○=販売中, △=消耗品の提供やメンテナンス等の対応をされているが販売は終了。
*2 保険：Table1 の同番号の治療で使用可能。
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザー協会による調査に対しての回答による。

承認年月日	承認番号	使用目的又は効果	現況 *1	保険 *2
平成 25 年 9 月 20 日	22500BZX00420000	本品は、光感受性物質タラポルフィンナトリウムを用いた光線力学的療法 (Photodynamic Therapy: PDT) に使用することを目的としたレーザ装置である。 対象疾患：原発性悪性脳腫瘍 (腫瘍摘出手術を施行する場合に限る)	○	⑪
平成 30 年 4 月 23 日	23000BZI00010000	本装置は光線力学的療法に使用するレーザ照射装置であり、中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症のベルテポルフィンを用いた治療において、ベルテポルフィンの活性化源として使用する。	○	③
平成 15 年 12 月 9 日	21500BZY00578000	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性に対して、光感受性物質と併用した光線力学的療法に使用する。	△	③
平成 23 年 4 月 18 日	22300BZX00216000	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性に対して、光感受性物質と併用した光線力学的療法に使用する。	△	③
平成 28 年 3 月 22 日	22800BZI00012000	刺青及び色素性病変の蒸散及び除去に使用する。	○	③
平成 29 年 2 月 17 日	22900BZX00055000	本品は色素性皮膚疾患の治療に用いるレーザ治療装置である。	○	-
平成 23 年 6 月 30 日	22300BZX00301000	本装置は、色素沈着性母斑や刺青 (いれずみ) などと、正常皮膚の分光特性の差を利用し、ルビーレーザ光がこれらの色素沈着部位に選択的に吸収されることによりこれを破壊し、治療しようとするものである。	○	
令和 2 年 1 月 24 日	30200BZX00022000	本品は、正常皮膚と色素沈着性母斑などの色素沈着部位との分光特性の差を利用し、ルビーレーザ光がこれら色素沈着部位に選択的に吸収されることにより、これらを破壊し治療するものである。また、刺青の除去にも使用する。	○	-
令和 3 年 4 月 7 日	30300BZX00107000	本品は、アレキサンドライトレーザを用いた長期的な減毛を目的とした機器である。	○	③
令和 1 年 8 月 2 日	30100BZX00097000	本品は、レーザの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とした装置である。	○	③
令和 3 年 7 月 1 日	30300BZX00181000	本品は、レーザの選択的熱作用による長期的な減毛を目的としている。	○	③
令和 2 年 5 月 13 日	30200BZX00153000	本装置は、体表面の表在性及び深在性良性色素性病変の治療、又は外傷性並びに入墨による刺青の蒸散及び除去に使用する。	○	
平成 29 年 7 月 20 日	22900BZX00233000	本装置は、表在性及び深在性皮膚良性色素性疾患及び外傷性並びに入墨による刺青の治療に使用する。	○	
平成 26 年 3 月 24 日	22600BZX00117000	本装置は、深在性皮膚良性色素性疾患及び外傷性並びに入墨による刺青の治療を目的とする	△	
平成 28 年 12 月 15 日	22800BZX00446000	本装置は、レーザの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とする。また、表在性の皮膚良性色素性疾患の治療にも使用する。	○	-
平成 30 年 5 月 7 日	23000BZX00128000	本装置は、レーザの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とする。また、アレキサンドライトレーザは表在性の皮膚良性色素性疾患の治療にも使用する。	○	-
令和 2 年 9 月 17 日	30200BZX00304000	本装置は、レーザの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とする。また、アレキサンドライトレーザは表在性の皮膚良性色素性疾患の治療にも使用する。	○	-
令和 4 年 1 月 27 日	30400BZX00021000	レーザの選択的熱作用による長期的な減毛を目的とした装置である。	○	-
令和 2 年 1 月 10 日	30200BZX00004000	レーザの選択的熱作用による長期的な減毛を目的とした装置である。	○	-
令和 2 年 12 月 23 日	30200BZX00401000	レーザの選択的熱作用による長期的な減毛を目的とした装置である。	○	⑳㉑㉒
平成 30 年 5 月 18 日	23000BZX00140000	本装置は、レーザの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とした装置である。	△	⑳㉑㉒
令和 2 年 12 月 23 日	30200BZX00404000	本品は、レーザの選択的熱作用により、長期的な減毛を目的とした装置である。	○	⑳㉑㉒
平成 23 年 12 月 6 日	22300BZX00449000	耳鼻咽喉科、歯科 (口腔外科) の生体軟組織の切開、止血、凝固及び蒸散に用いる。	○	㉑㉒
平成 24 年 7 月 3 日	22400BZX00234000	生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散に用いる。	○	
平成 28 年 2 月 12 日	22800BZX00069000	歯科 (口腔外科) の生体軟組織の切開、止血、凝固及び蒸散に用いる。	○	㉑㉒㉓
平成 30 年 1 月 30 日	23000BZX00022000	本装置はレーザ光により口腔内の軟組織の切開、止血、凝固及び蒸散に用いる	○	㉑
令和 3 年 8 月 25 日	30300BZX00238000	本品は、レーザの選択的熱作用による長期的な減毛を目的としている。	○	㉑㉒㉓㉔㉕
平成 28 年 1 月 21 日	22800BZX00029000	口腔内の生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散	○	㉑㉒
平成 29 年 4 月 17 日	22900BZX00121000	レーザの熱作用を利用して、眼疾患治療に用いる。例えば、網膜・虹彩・毛様体又は隅角光凝固による眼疾患治療。	○	④
平成 25 年 12 月 6 日	22500BZX00520000	本装置は、生体組織の切開、止血、凝固 及び蒸散に用いられるダイオードレーザ手術装置である。	△	④
平成 27 年 11 月 27 日	22700BZX00370000	歯科 (口腔外科) ・耳鼻咽喉科の生体軟組織の切開・止血・凝固及び蒸散に用いる	○	④
平成 4 年 2 月 3 日	20400BZZ00039000	四肢の関節痛、頸部痛及び腰部部の鎮痛並びに緩解	△	㉑
平成 7 年 11 月 6 日	20700BZZ00993000	四肢の関節痛、頸部痛及び腰部部の鎮痛並びに緩解	○	㉑
平成 26 年 4 月 23 日	22600BZX00200000	筋肉・関節の慢性非感染性炎症による疼痛の緩和	○	
平成 22 年 6 月 14 日	22200BZX00660000	本品は、一次性下肢静脈瘤 (血管径 20mm 以下の大伏在静脈瘤又は小伏在静脈瘤) の伏在静脈本幹の治療に使用する。	△	-
平成 28 年 2 月 24 日	22800BZX00077000	本品は前立腺肥大症の治療に使用され、経内視鏡的に前立腺を波長 980nm のレーザ光にて切除 (蒸散と凝固) する。	○	㉑
平成 27 年 7 月 8 日	22700BZX00201000	白内障手術における前囊切開、水晶体分割、角膜切開	○	㉑
平成 26 年 8 月 25 日	22600BZX00350000	1. 白内障手術における前囊切開、水晶体分割及び角膜切開に用いる。 2. 角膜屈折矯正手術 (LASIK)、その他角膜層状切除の必要な手術又は処置における角膜フラップ作製又は層状切除に用いる。	○	㉑
平成 24 年 3 月 26 日	22400BZX00108000	1. 角膜屈折矯正手術 (LASIK)、その他角膜層状切除の必要な手術又は処置における角膜フラップ作製又は層状切除。 2. 角膜移植における角膜切開・切除。	○	③
平成 24 年 11 月 15 日	22400BZX00429000	角膜屈折矯正手術 (LASIK)、その他角膜層状切除の必要な手術又は処置における角膜フラップ作製又は層状切除に使用する。また、角膜移植における角膜切除・切開に使用する。	○	③
平成 23 年 2 月 8 日	22300BZX00071000	1. 角膜屈折矯正手術 (LASIK)、その他角膜層状切除の必要な手術又は処置における角膜フラップ作製又は層状切除 2. 角膜移植における角膜切除・切開 3. 上記以外の眼科手術における角膜の弧状切開 (貫通切開又は実質内切開)	○	㉑

Table 4 Laser devices arranged in the order of wavelength.

番号	波長① (nm)	波長② (nm)	レーザの種類	販売名	製販業者名	販売会社名
74	1064	532	Nd:YAG (Q スイッチ)	アセット	Quanta System SpA	ビッグブルー株式会社
75	1064	532/694	Nd:YAG/ ルビーレーザ (ピコ /Q スイッチ)	ディスカバリー ピコ プラス	Quanta System SpA	ビッグブルー株式会社
76	1064		Nd:YAG (Q スイッチ)	ウルトラ Q オフサルミックレーザ	エレックス株式会社	エレックス株式会社
77	1064	532	Nd:YAG (Q スイッチ)	タンゴ オフサルミックレーザ	エレックス株式会社	エレックス株式会社
78	1064	532	Nd:YAG (Q スイッチ)	タンゴ Reflex オフサルミックレーザ	エレックス株式会社	エレックス株式会社
79	1064	532	Nd:YAG (Q スイッチ)	フュージョン オフサルミックレーザ	エレックス株式会社	エレックス株式会社
80	1064		Nd:YAG (Q スイッチ)	ビスラス YAG III	カールツァイスメディテック株式会社	カールツァイスメディテック株式会社
81	1064	532	Nd:YAG(Q スイッチ)	眼科用ヤグレーザ手術装置 YC-200	株式会社ニデック	株式会社ニデック
82	1064		Nd:YAG	ストリーク STREAK- I	株式会社アルテック	株式会社アルテック
83	1064	532	Nd:YAG (ピコ)	enLIGHTen エンライトン	キュテラ株式会社	キュテラ株式会社
84	1064	532/670	Nd:YAG (ピコ)	Enlighten III レーザシステム	キュテラ株式会社	キュテラ株式会社
85	1064	532	Nd:YAG (Q スイッチ)	スターウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック
86	1064	532	Nd:YAG (ピコ)	PQX ピコレーザ	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック
87	1064	532/730	Nd:YAG (ピコ)	ピコセカンド KTP/Nd:YAG レーザ PicoWay	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
88	1064		Nd:YAG	ドルニエ Medilas fivertom 8100	ドルニエメドテックジャパン株式会社	ドルニエメドテックジャパン株式会社
89	1064		Nd:YAG	ドルニエ メディラス ファイバートム 5060/5100	ドルニエメドテックジャパン株式会社	ドルニエメドテックジャパン株式会社
90	1064	532	Nd:YAG (Q スイッチ)	AMS GreenLight HPS コンソール	ボストン・サイエンティフィック ジャパン(株)	ボストン・サイエンティフィック ジャパン(株)
91	1064	532	Nd:YAG (Q スイッチ)	セレクト オフサルミック レーザシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス
92	1064		Nd:YAG (Q スイッチ)	Aura オフサルミクックヤグレーザ	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス
93	1470		ダイオードレーザ	ELVeS レーザー 1470	株式会社インテグラル	株式会社インテグラル
94	1470		ダイオードレーザ	ヴェノレーザ TR 1470	株式会社ユニタック	株式会社ユニタック
95	2010		Tm:YAG	Quanta Cyber TM 200W レーザ	エダップテクノメド株式会社	エダップテクノメド株式会社
96	2013		Tm:YAG	レボリックス 120	タカイ医科工業株式会社	タカイ医科工業株式会社
97	2013		Tm:YAG	レボリックス 200	タカイ医科工業株式会社	タカイ医科工業株式会社
98	2080		Hol:YAG	ドルニエ Medilas H Solvo	ドルニエメドテックジャパン株式会社	ドルニエメドテックジャパン株式会社
99	2080		Hol:YAG	ドルニエ Medilas H Solvo35	ドルニエメドテックジャパン株式会社	ドルニエメドテックジャパン株式会社
100	2080		Hol:YAG	ドルニエ Medilas H UroPulse	ドルニエメドテックジャパン株式会社	ドルニエメドテックジャパン株式会社
101	2100		Hol:YAG	Quanta Litho レーザ	エダップテクノメド株式会社	エダップテクノメド株式会社
102	2100		Hol:YAG	Quanta Cyber Hol レーザ	エダップテクノメド株式会社	エダップテクノメド株式会社
103	2100		Hol:YAG	Quanta Cyber Hol 100W レーザ	エダップテクノメド株式会社	エダップテクノメド株式会社
104	2100		Hol:YAG	Quanta Litho EVO レーザ	エダップテクノメド株式会社	エダップテクノメド株式会社
105	2100		Hol:YAG	オデッセイ 30	タカイ医科工業株式会社	タカイ医科工業株式会社
106	2100		Hol:YAG	オデッセイ 30 B-1	すみれ医療株式会社	すみれ医療株式会社
107	2100		Hol:YAG	Lumenis パルス 120H	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社
108	2100	1064	Hol:YAG Nd:YAG	バーサパルス セレクト 80:100	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス
109	2123		Hol:YAG	スフィンクス・ジュニア	タカイ医科工業株式会社	タカイ医科工業株式会社
110	2780		Er,Cr:YSGG	ウォーターレーズ iPlus	白水貿易株式会社	株式会社デンタリード
111	2940	1064	Er:YAG	ライトウォーカー	株式会社ジェイメック	株式会社ジェイメック

*1 現況：○=販売中、△=消耗品の提供やメンテナンス等の対応をされているが販売は終了。
*2 保険：Table1 の同番号の治療で使用可能。
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の、日本医用レーザ協会による調査に対する回答による。

承認年月日	承認番号	使用目的又は効果	現況 *1	保険 *2
平成 27 年 11 月 24 日	22700BZ100042000	刺青及び色素性病変の蒸散及び除去に使用する。	○	⑩⑫
令和 2 年 7 月 3 日	30200BZ100018000	刺青及び色素性病変の蒸散及び除去に使用する。	○	⑩⑫
平成 17 年 7 月 29 日	21700BZG00030000	パルスレーザの衝撃波による破壊作用又は / 及び熱作用を利用して、後発白内障・緑内障等の眼疾患の治療に用いる。	○	⑩⑫
平成 16 年 12 月 2 日	21600BZG00033000	パルスレーザの衝撃波による破壊作用又は / 及び熱作用を利用して、後発白内障・緑内障等の眼疾患の治療に用いる。	○	⑫
平成 30 年 8 月 17 日	23000BZ100027000	パルスレーザの衝撃波による破壊作用又は / 及び熱作用を利用して、後発白内障・緑内障等の眼疾患の治療に用いる。	○	⑳㉑㉒㉓㉔
令和 1 年 8 月 5 日	30100BZ100008000	パルスレーザの衝撃波による破壊作用又は / 及び熱作用を利用して、後発白内障・緑内障等の眼疾患の治療に用いる。	○	③
平成 17 年 6 月 17 日	21700BZY00317000	眼球内の微細手術を、レーザインパルスの組織切断作用によって行います。照射方式は空中非接触で行う。	○	③
平成 30 年 10 月 12 日	23100BZX00035000	パルスレーザの衝撃波による破壊作用または / および熱作用を利用して、後発白内障・緑内障等の眼疾患の治療または眼組織の切開に用いる。	○	⑩⑫
平成 15 年 10 月 20 日	21500BZZ00607000	生体組織の凝固止血・蒸散・切開に用いられます。 適用部位、照射対象：眼科を除く部位において、照射対象は皮膚、粘膜、血管。	○	③
平成 28 年 3 月 28 日	22800BZX00138000	本品は、基質としてネオジミウム (Nd) とイットリウム・アルミニウム・ガーネット (YAG) からなる結晶を利用するレーザで、体表面の良性色素性病変の蒸散及び除去、* 並びに刺青の除去に使用する。	○	③
令和 3 年 11 月 22 日		本品は、深在性及び表在性の皮膚良性色素性病変の治療並びに刺青の除去に使用する。	○	㉔
平成 31 年 3 月 25 日	23100BZX00076000	体表面の刺青の除去と色素性病変の治療 1064nm は、太田母斑、異所性又は持続性蒙古斑、外傷性色素沈着症等の深在性色素性病変の治療及び黒青色の色の刺青の除去に使用する 532nm は、扁平母斑、雀卵斑、老人性色素斑等の表在性色素性病変の治療及び赤系の色の刺青の除去に使用する	○	㉔
令和 3 年 2 月 5 日	30300BZX00027000	体表面の刺青の除去と色素性病変の治療 波長 1064nm は、太田母斑、異所性又は持続性蒙古斑、外傷性色素沈着症等の深在性色素性病変の治療及び黒青色の色の刺青の除去に使用する 波長 532nm は、扁平母斑、雀卵斑、老人性色素斑等の表在性色素性病変の治療及び赤系の色の刺青の除去に使用する	○	㉔
平成 30 年 9 月 30 日	23000BZX00270000	体表面の深財性及び浅在性色素性病変の治療及び刺青の除去	○	⑫
平成 21 年 10 月 19 日	22100BZX00991000	生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散	△	⑫
平成 8 年 6 月 5 日	20800BZX00381000	生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散	△	㉑
平成 23 年 4 月 18 日	22300BZ100007000	経内視鏡 (膀胱鏡) 的に前立腺を 532nm のレーザにて切開 (蒸散と凝固) する良性前立腺肥大 / 過形成症 (BPH) の治療に使用する。	△	㉑
平成 21 年 12 月 17 日	22100BZX01111000	パルスレーザの衝撃波による破壊作用及び熱作用を利用して、眼疾患の治療に用いる。後発白内障や緑内障等に伴う後囊切開術、虹彩・隅角光凝固術等々に使用される。	○	㉔
平成 21 年 1 月 26 日	22100BZX00016000	パルスレーザの衝撃波による破壊作用及び熱作用を利用して、眼疾患の治療に用いる。後発白内障や緑内障等に伴う後囊切開術、虹彩・隅角光凝固術等々に使用される。	△	㉔
平成 26 年 3 月 7 日	22600BZX00093000	本品は、一次性下肢静脈瘤 (血管径 20mm 以下の大伏在静脈瘤又は小伏在静脈瘤) の伏在静脈本幹の治療に使用する。	○	㉔
令和 1 年 6 月 17 日	30100BZX00042000	一次性下肢静脈瘤 (血管径 20mm 以下の大伏在静脈瘤又は小伏在 静脈瘤) 患者における伏在静脈本幹の血流遮断に使用する。	○	㉔㉔
平成 30 年 4 月 17 日	23000BZX00101000	生体組織の切開、止血、凝固、蒸散を目的とする外科的処置に使用する。	○	㉔㉔
平成 27 年 8 月 5 日	22700BZX00219000	本装置は生体組織の切開、止血、凝固、蒸散を目的とする外科的処置に使用する。	○	㉔㉔
令和 2 年 12 月 23 日	30200BZX00402000	本装置は生体組織の切開、止血、凝固、蒸散を目的とする外科的処置に使用する。	○	㉔㉔
平成 26 年 5 月 15 日	22600BZX00214000	生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散及び尿路結石の破碎に使用する。	○	㉔㉔
平成 30 年 8 月 23 日	23000BZX00251000	生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散及び尿路結石の破碎に使用する。	○	㉔㉔
平成 27 年 8 月 13 日	22700BZX00236000	生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散及び尿路結石の破碎に使用する。	○	㉔㉔
平成 27 年 12 月 25 日	22700BZX00424000	生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎術を行う。	○	㉔㉔
平成 30 年 3 月 1 日	23000BZX00049000	生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎術を行う。	○	㉔㉔
令和 1 年 5 月 27 日	30100BZX00023000	生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎術を行う。	○	㉔㉔
令和 2 年 12 月 16 日	30200BZX00398000	生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎術を行う。	○	㉔㉔㉔㉔㉔㉔㉔㉔
平成 21 年 5 月 27 日	22100BZX00708000	生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎を行う。	△	㉔㉔
平成 30 年 7 月 20 日	23000BZX00216000	本装置は、パルスホルミウムヤグレーザを用いて生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎を行う機器である。	○	
平成 28 年 3 月 30 日	22800BZX00150000	生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎に使用する。	○	㉔㉔㉔㉔㉔㉔㉔㉔
平成 11 年 1 月 25 日	21100BZY00047000	生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎に使用する。	○	㉔㉔㉔㉔㉔㉔㉔㉔
平成 28 年 3 月 17 日	22800BZX00108000	本装置は生体組織の切開、止血、凝固、蒸散及び尿路の結石破碎を目的として使用する。	○	㉔㉔㉔㉔
令和 2 年 4 月 10 日	30200BZX00120000	口腔内の軟組織の切開、凝固、蒸散及び歯牙の蒸散を行う。	○	㉔㉔㉔㉔
令和 1 年 11 月 13 日	30100BZX00198000	エルビウム・ヤグレーザ (2940nm) : 口腔硬組織の蒸散 歯周組織の切開及び蒸散 口腔軟組織の切開、止血、凝固及び蒸散 ネオジミウム・ヤグレーザ (1064nm) : 口腔軟組織の切開、止血、凝固及び蒸散	○	㉔㉔㉔㉔

Table 4 Laser devices arranged in the order of wavelength.

番号	波長① (nm)	波長② (nm)	レーザの種類	販売名	製販業者名	販売会社名
112	2940		Er:YAG	アーウィン アドベール	株式会社モリタ製作所	株式会社モリタ
113	10600		炭酸ガスレーザ	レザック CO2-25	白水貿易株式会社	株式会社レザック
114	10600		炭酸ガスレーザ	NEW レザック	白水貿易株式会社	株式会社レザック
115	10600		炭酸ガスレーザ	スマートサイド	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクスパンションサービスジャパン株式会社
116	10600		炭酸ガスレーザ	スマートサイド・タッチ	株式会社 DEKA JAPAN	DKSH マーケットエクスパンションサービスジャパン株式会社
117	10600		炭酸ガスレーザ	エスレーザー ESPRIT	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック
118	10600		炭酸ガスレーザ	エスレーザー Smart	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社ジェイメック
119	10600		炭酸ガスレーザ	アロウ -2001	有限会社エル・アイ・ビー	株式会社クロスアローズ
120	10600		炭酸ガスレーザ	CO2 レーザシステム UAL3000DP	株式会社メディカルユアンドエイ	株式会社メディカルユアンドエイ
121	10600		炭酸ガスレーザ	ジーシー ガスレーザー	株式会社ジーシー	株式会社ジーシー
122	10600		炭酸ガスレーザ	ジーシー ナノレーザー GL- III	株式会社ジーシー	株式会社ジーシー
123	10600		炭酸ガスレーザ	EdgeONE エッジワン	Jeisys Medical Japan 株式会社	Jeisys Medical Japan 株式会社
124	10600		炭酸ガスレーザ	フラクショナルモード搭載炭酸ガスレーザー コア	シネロン・キャンデラ株式会社	シネロン・キャンデラ株式会社
125	10600		炭酸ガスレーザ	ペルレーザー	タカラメディカル株式会社	タカラペルモント株式会社
126	10600		炭酸ガスレーザ	レザウィン II	株式会社モリタ製作所	株式会社モリタ製作所
127	10600		炭酸ガスレーザ	レザウィン CH S	株式会社モリタ製作所	株式会社モリタ製作所
128	10600		炭酸ガスレーザ	オペレーター 28	株式会社吉田製作所	株式会社ヨシダ
129	10600		炭酸ガスレーザ	オペレーター 29	株式会社吉田製作所	株式会社ヨシダ
130	10600		炭酸ガスレーザ	オペレーター NEOS	株式会社吉田製作所	株式会社ヨシダ
131	10600		炭酸ガスレーザ	AcuPulse 40W DUO CO2レーザ	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス
132	10600		炭酸ガスレーザ	ウルトラバルス アンコア 60W 炭酸ガスレーザーシステム	株式会社日本ルミナス	株式会社日本ルミナス

*1 現況：○=販売中, △=消耗品の提供やメンテナンス等の対応をされているが販売は終了.
*2 保険：Table1 の同番号の治療で使用可能.
(注) 2022 年 3 月 15 日現在の, 日本医用レーザー協会による調査に対しての回答による.

承認年月日	承認番号	使用目的又は効果	現況 *1	保険 *2
平成 15 年 12 月 4 日	21500BZZ00720000	疾患名 処置名 効果 (1) 硬組織疾患 ①う蝕除去 ②くさび状欠損の表層除去 蒸散 (2) 歯周疾患 ①歯周ポケットへの照射 ②歯石除去※ 1 ③ポケット掻爬 ④歯肉整形 ⑤フラップ手術 切開, 蒸散 (3) 軟組織疾患 ①小帯切除 ②歯肉切開・切除 ③口内炎の凝固層形成 ④色素沈着除去 切開, 止血, 凝固, 蒸散	○	⑬③①⑫⑬
平成 14 年 1 月 9 日	21400BZY00011000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散 照射方法: 空気中非接触照射	△	⑳㉑
令和 2 年 3 月 24 日	30200BX00102000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散 照射方法: 空気中非接触照射	○	⑳㉑
平成 24 年 8 月 1 日	22400BX00280000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散に用いる. 皮膚科, 耳鼻咽喉科, 産婦人科, 歯科, 口腔外科領域における外科的処置に使用する	○	⑳㉑
平成 29 年 1 月 26 日	22900BX00019000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散に用いる. 皮膚科, 耳鼻咽喉科, 産婦人科, 脳神経外科, 一般及び胸部外科, 眼科, 小児科, 整形外科, 泌尿生殖器外科, 歯科, 口腔外科領域における外科的処置に使用する	○	-
平成 13 年 4 月 20 日	21300BZZ00188000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	○	㉒③①⑫⑬
平成 23 年 7 月 7 日	22300BX00313000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	△	㉒③①⑫⑬
平成 21 年 6 月 12 日	21300BZZ00188A01	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	△	㉒③①⑫⑬
平成 27 年 4 月 6 日	22700BX00123000	本品は炭酸ガスを基質とするガスレーザであり, 皮膚組織の切開および蒸散を目的とする.	○	
平成 30 年 2 月 5 日	23000BX00030000	歯科及び口腔外科患者, 歯科及び口腔外科疾患に対する軟組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	○	㉒③①⑫⑬
平成 19 年 8 月 3 日	21900BX00685000	歯科及び口腔外科患者, 歯科及び口腔外科疾患に対する軟組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	△	㉑③②⑬
平成 30 年 10 月 15 日	23000BZI00037000	本品は, 皮膚のフラクショナルリサーフェシングを目的とした軟組織の蒸散に使用する. また, 正常軟組織の切開, 病変組織の切除又は蒸散に使用することもできる.	○	㉑③②⑬
平成 29 年 12 月 26 日	22900BX00428000	本装置は, 皮膚のフラクショナルリサーフェシングを目的とした軟組織の蒸散に使用する. また, 正常組織の切開, 病変組織の切除又は蒸散にも使用する.	○	㉑③②⑬
平成 17 年 8 月 9 日	21700BZZ00348000	生体組織の切開, 止血, 凝固および蒸散. 軟組織 (生体組織) の主成分である水分に効率よく吸収されるため, 照射すると照射直下の組織は約 100~1,500℃まで上昇し, 水分の蒸発や組織の炭化, 気化蒸散が生じます. また, 熱の拡散により温度が伝導され, 60~65℃では蛋白質の変性, 凝固が生じます.	○	㉑③②⑬
平成 24 年 9 月 5 日	22400BX00330000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	○	㉒③①⑫⑬
平成 13 年 4 月 13 日	21300BZZ00172000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	△	㉑③②⑬
平成 16 年 6 月 17 日	21600BZZ00246000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	○	㉑③②⑬
平成 14 年 1 月 18 日	21400BZZ00009000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	○	㉑③②⑬
平成 28 年 10 月 4 日	22800BX00361000	生体軟組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散	○	㉑③②⑬
平成 27 年 1 月 21 日	22700BX00011000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散に用いる.	○	㉑③②⑬
平成 13 年 8 月 24 日	21300BZY00464000	生体組織の切開, 止血, 凝固及び蒸散に用いる.	○	㉑③②⑬

Table 5 Cooperative companies for investigation.

会 社 名	URL	住 所	T E L	F A X
アキュラ株式会社	http://www.acurajpn.com	530-0043 大阪市北区天満 2-1-20 天満松茂ビル	06-6354-1288	06-6354-1289
飛鳥メディカル株式会社	https://www.asuka-med.com/	610-0332 京都府京田辺市興戸地蔵谷 1 番地 同志社大学連携型起業家育成施設	0774-65-2233	0774-65-2288
株式会社アルテック	http://www.al-tech.co.jp/	400-0853 山梨県甲府市下小河原町 467-1	055-269-6033	055-269-6044
株式会社インテグラル	https://www.integralcorp.jp/	141-0021 東京都品川区上大崎 2-25-2 新目黒東急ビル 11F	03-6417-0810	03-6417-0853
エイムオー・ジャパン株式会社	https://www.surgical.jnvision.jp/	101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2	03-5402-8900	03-4411-5121
エダップテクノメド株式会社	https://www.edaptechnomed.co.jp/	104-0033 東京都中央区新川 1-3-17 新川三幸ビル 1F	03-5540-6767	03-5540-6785
有限会社エル・アイ・ビー		854-0021 長崎県諫早市仲沖町 19-10	0957-23-7016	0957-23-7018
エレックス株式会社	http://ellex.jp	104-6009 東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワー X 9 階	03-5859-0470	03-5859-0471
長田電機工業株式会社	http://osada-group.jp/	141-8517 東京都品川区西五反田 5-17-5	03-3492-7651	03-3492-7793
カルツァイスメディテック株式会社	http://www.meditec.zeiss.co.jp	102-0083 東京都千代田区麹町 2-10-9	0570-021311	03-5214-1251
キュテラ株式会社	http://www.cutera.jp/	150-0031 東京都渋谷区桜丘町 12-10	03-5456-6325	03-5456-2213
サイノシュアー株式会社	http://www.cynosure.co.jp/	162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-17 中央ビル	03-3528-9955	03-3528-9956
株式会社ジーシー	http://www.gcdental.co.jp/	174-8585 東京都板橋区蓮沼町 76-1	03-3965-1201	03-3965-1329
Jeisys Medical Japan 株式会社	https://jnj-inc.com/	141-0031 東京都品川区西五反田 5-5-7 ケーエムビル 3F	03-5436-7710	03-5436-7720
株式会社ジェイメック	http://www.jmec.co.jp/	113-0034 東京都文京区湯島 3-31-3	03-5688-1803	03-5688-1805
シネロン・キャンデラ株式会社	http://www.candelakk.jp/	104-0061 東京都中央区銀座 6-8-7 交詢ビル	03-3289-2077	03-3289-2160
すみれ医療株式会社	http://www.sumire-medical.co.jp/	134-0081 東京都江戸川区北葛西 1-22-19	03-5605-3781	03-5605-1812
タカイ医科工業株式会社	https://takai-hs.co.jp/	113-0034 東京都文京区湯島 2-31-25	03-3814-7761	03-3814-9694
タカラベルモント株式会社	http://www.takara-dental.jp/	542-0083 大阪市中央区東心斎橋 2-1-1	06-6212-3619	06-6212-3697
DKSH マーケットエクспанション サービスジャパン 株式会社	https://www.dksh.com/jp-jp/home	108-8360 東京都港区三田 3-4-19	03-5730-7670	03-5730-7606
株式会社トーマコーポレーション	http://www.tomey.co.jp/	451-0051 愛知県名古屋市中区則武新町 2-11-33	052-581-5321	052-581-5626
株式会社トプコン	http://www.topcon.co.jp/	174-8580 東京都板橋区蓮沼町 75-1	03-3558-2506	03-3966-5106
ドルニエメドテックジャパン 株式会社	http://www.dornier.com/	141-0021 東京都品川区上大崎 3-8-5	03-3280-3993	03-3280-3555
株式会社ニデック	https://www.nidek.co.jp/	443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜 34-14	0533-67-6611	
日本アルコン株式会社	https://www.alcon.co.jp/	105-6333 東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー	03-6899-5000	
株式会社日本医用レーザー研究所	http://www.jml.co.jp/	160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館	03-5269-1403	03-5269-1410
株式会社日本ルミナス	https://www.lumenis.co.jp/	150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティ ウエスト 15 階	03-4431-8300	03-4431-8301
白水貿易株式会社	www.hakusui-trading.co.jp	532-0033 大阪府大阪市淀川区新高 1-1-15	06-6396-4411	06-6396-4468
ビッグブルー株式会社	https://bigblue.jp.com/index.html	156-0051 東京都世田谷区宮坂 3-12-15 ライズビー	03-6413-7344	03-6800-2204
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	https://www.bostonscientific.com/jp-JP/home.html	164-0001 東京都中野区中野 4-10-2	03-6853-1000	
Meiji Seika ファルマ株式会社	http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/	104-8002 東京都中央区京橋 2-4-16	03-3273-5789	03-3273-5620
株式会社メディカルユーアンドエイ	https://www.mua.co.jp/	105-7315 東京都港区東新橋 1-9-1 東京汐留ビルディング 15 階	03-4485-0020	03-4485-0050
株式会社モリタ製作所	https://www.morita.com/jmmc/ja/	612-8533 京都市伏見区東浜南町 680	075-611-2141	075-605-2354
株式会社ユニタック	https://unitac.net/	722-0212 広島市尾道市美ノ郷町本郷 1-60	0848-40-0390	0848-40-0391
株式会社吉田製作所	https://www.yoshida-net.co.jp/index.php	130-8516 東京都墨田区江東橋 1-3-6	03-3631-2191	03-3635-6908